



令和6年度
(2024)

大学院 入学試験要項

経済学研究科

《一般入学試験》

《社会人入学試験》

《外国人留学生入学試験》

福岡大学

経済学研究科

人材養成目的、その他教育研究上の目的

経済学研究科経済学専攻は、経済学の基礎的・先進的な研究を進展させる場とこれらの高度な専門知識を社会のなかで実践する場を統合的に提供することで、経済学と関連する諸科学についての高度な専門的知識を備え、それらの基礎的・先進的研究の深化を図ると同時に、高度な専門知識を社会のなかで効果的に適用できる有為の人材を育成することを教育研究の理念とする。この理念のもと、博士課程前期では、学術研究の発展を担う高度な研究能力を持った研究者となるための基礎力の育成、高い見識と専門知識を備えた専門職業人の養成、また、社会人のリカレント教育を促進することによって、高度な専門知識を社会のなかで効果的に適用する理論と実践との融合を検証する場を確保するとともに、外国人留学生の積極的な受入れによる国際的リーダーの養成、国際的貢献を目的とする。博士課程後期では、前期課程の教育をさらに発展させ、高度な研究能力を備え自立して研究活動を遂行し、基礎的・先進的研究の発展に寄与し得る研究者の養成、高度な専門知識を備えた専門職業人の養成、高度な専門知識を社会のなかで効果的に適用できる優れた経済人、産業人、国際的リーダーの育成を目的とする。

アドミッション・ポリシー

経済学研究科経済学専攻では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえて、次に掲げるような意欲と能力などを備えた学生・社会人・留学生を受け入れる。

博士課程前期では、経済学とその周辺領域の専門的知識や思考方法および研究方法を修得することによって、産業界において活躍しようとする人材、あるいは、この課程の修了後、さらに後期課程に進学して高度な研究能力の修得を目指す人材を求める。入学者選抜においては、学習に必要な基礎知識と語学能力を持つこと、経済学とその周辺領域についての学習と研究に意欲的に取り組む意思があることが評価される。

博士課程後期では、経済学とその周辺領域に関する専門知識、論理的思考方法と高度な研究方法を修得し、研究活動によって学術的・社会的な貢献を行おうとする人材を求める。入学者選抜においては、経済学とその周辺領域についての専門知識と文献解読のできる語学能力を持ち、経済現象に対する強い探究心によって高度な研究活動を行う意思を持つことが評価される。

教育目標

【博士課程前期】

経済学および関連する専門領域の確かな基礎知識を背景に、社会・現場の問題、既存研究領域の問題の所在や課題を論理的に組み立てることができる能力、社会・現場との対話、既存研究領域の研究者との対話を通して、これらの問題の所在や課題を、理解、発見し、他者に説明できる、日本語・英語による論理的な文章力、コミュニケーション能力をもった人材育成を教育目標とする。

【博士課程後期】

- ・経済学および関連する専門領域の確かな基礎知識を背景に、社会・現場の問題、既存研究領域の問題の所在や課題を論理的に組み立て、その解決策を創造できる能力
- ・社会・現場との対話、既存研究領域の研究者との対話を通して、これらの問題の所在や課題を、理解、発見し、その解決策を創造し、他者を説得できる、日本語・英語による論理的な文章力、コミュニケーション能力
- ・解決策を実行するための組織化やその有効性を検証するための科学的手続きを組み立て、組織を動かしていけるリーダーシップの能力をもった人材育成を教育目標とする。

経済学研究科の入試制度について

福岡大学経済学研究科の入試制度についてご案内します。本研究科では、より客観的なかたちで志願者の皆さんの能力を評価でき、皆さんの受験結果がより公正に反映されるようになっております。以下にポイントをまとめておりますので、経済学の研究を通じて、世の中に貢献したいと考えている皆さんの受験をお待ちしています。

【ポイント1】

博士課程前期・後期の両方に共通なものとして、①英語の学力検査に TOEFL, TOEIC などの試験結果を活用する、②受講言語をあらかじめ選択する、③受験生には、事前に希望する専修科目担当者（指導教員）へ連絡をとることを義務付ける、の3点があります。

①英語の学力検査について

近年これらの試験結果を入試に活用する大学が増えてきておりますので、本研究科でも採用しております。入学願書提出の前にこれらの試験（詳しくは「出願手続き」を参照）のいずれかを受けて成績証明書を取得していただくと必要がありますので、ご注意ください。

②授業で使用する言語（受講言語）について

授業で使用する言語（受講言語）として、日本語か英語を選択できます。これは、英語での授業を希望する海外からの問い合わせが近年増加していることに対応したものです。留学生が受講言語として英語を選択する場合、日本語能力の証明は不要です。なお、受講言語として英語を選択した志願者には、希望する専修科目担当者（指導教員）が出題する英語での筆記試験が課されます。

受講言語として日本語・英語のどちらを選択するかは、必ず、希望する専修科目担当者（指導教員）への事前の連絡の中であらかじめ申し出てください。英語を希望するという申し出があった場合、修了に必要な単位数が英語で行われる講義だけで取得可能であるかを確認して、志願者に対して受け入れ可能かお返事します。専門分野によっては、開講授業数の関係で受け入れ不可能という場合もありますので、あらかじめご了解ください。なお、受講言語に英語を選択した場合でも、入学後、日本語での授業も受講することは可能です。逆に、受講言語に日本語を選択した場合でも、入学後、英語での授業も受講することは可能です。

③希望する専修科目担当者（指導教員）への事前連絡について

受験生が合格後にどのようなことを学びたいと考えているか、それに対して教員はどのように対応できるかを、受験生と希望する専修科目担当者（指導教員）の間で互いにきちんと了解しておくことが狙いです。希望する専修科目担当者（指導教員）には、Eメールでご連絡ください。連絡方法についての詳細は「出願手続き」を参照してください。

【ポイント2】

博士課程前期については、さらに以下の特徴があります。

①専門科目の学力検査について

専門科目の学力検査の方法の一つとして、ERE ミクロ・マクロの成績による評価を導入しております。受験生は、専門科目の学力検査として、ERE ミクロ・マクロの成績利用か、希望する専修科目担当者（指導教員）が出題する筆記試験かのどちらかを選ぶことができます。ただし、その選択にあたり、あらかじめ希望する専修科目担当者（指導教員）の了解が必要です。指導予定教員の確認の上でERE ミクロ・マクロの成績利用を選択する場合は、当該試験を事前に受け、その成績証明書を出願時に提出していただくこととなります。

目 次

博士課程前期

《一般入学試験》《社会人入学試験》

1	募集人員	2
2	出願資格	2
3	入学試験日・願書受付期間	3
4	願書受付時間・場所	3
5	出願手続	
	(1) 提出書類	3
	(2) 提出書類その他	4
	(3) 入学検定料の納入方法	4
	(4) 出願資格審査について	4
	(5) 出願上の注意	6
6	受験票	7
7	試験場・試験会場	7
8	試験科目・試験時間	7
9	合格発表	7
10	入学手続	8
	(1) 入学に要する経費等	8
	(2) 入学辞退について	8
11	その他	
	◇ 既修得単位認定制度	9
	◇ 奨学金制度	9
	◇ (修士課程・博士課程前期進学予定者対象) 特に優れた業績による返還免除内定制度	9

募集専修科目・担当者及び概要等

1	募集専修科目と担当者及び授業内容の概要	11
2	その他の科目	18
3	履修方法	18

博士課程後期

《一般入学試験》《社会人入学試験》

1	募集人員	20
2	出願資格	20
3	入学試験日・願書受付期間	21
4	願書受付時間・場所	21
5	出願手続	
	(1) 提出書類	21
	(2) 提出書類その他	22
	(3) 入学検定料の納入方法	22
	(4) 出願資格審査について	22
	(5) 出願上の注意	23
6	受験票	24
7	試験場・試験会場	24
8	試験科目・試験時間	24
9	合格発表	24

10	入学手続	25
	(1) 入学に要する経費等	25
	(2) 入学辞退について	25
11	その他	
	◇ 既修得単位認定制度	25
	◇ 奨学金制度	25

募集専修科目・担当者及び概要等

1	募集専修科目と担当者及び研究内容の概要	27
2	その他の科目	28
3	履修方法	29

外国人留学生入学試験 《博士課程前期・博士課程後期》

1	募集人員	31
2	出願資格	31
3	入学試験日・願書（第1次選考書類）受付期間	32
4	願書（第1次選考書類）受付	32
5	出願手続	
	(1) 提出書類	32
	(2) 外国人留学生 卒業/修了(見込)証明書, 成績証明書, 学位取得証明書について	37
	(3) 第1次選考(書類審査)と第2次選考検定料(入学検定料)	38
	(4) 出願上の注意	38
6	受験票及び受験許可書	38
7	試験場・試験会場	38
8	試験科目・試験時間	39
9	合格発表	39
10	入学手続	39

(巻末)

- ◇ 個人情報の取扱いについて
- ◇ 福岡大学大学院長期履修制度について

博 士 課 程 前 期

《一般入学試験・社会人入学試験》

博士課程前期

《一般入学試験》《社会人入学試験》

1 募集人員

研究科名	専攻名	課程名	標準修業年限	入学定員*
経済学研究科	経済学専攻	博士課程前期	2年	10名

※入学定員には、専攻で実施するすべての入学試験の人員を含みます。

2 出願資格

《一般入学試験》	《社会人入学試験》
<p>次のいずれかの条件に該当する者</p> <p>①学校教育法第83条の大学を卒業した者及び令和6年3月までに卒業見込みの者</p> <p>②学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者（大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者）及び令和6年3月までに学士の学位を授与される見込みの者</p> <p>③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者</p> <p>④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者</p> <p>⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者</p> <p>⑥外国の大学その他の外国の学校^{*1)}において、修業年限が3年以上である課程を修了すること^{*2)}により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者</p> <p>*1) その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。</p> <p>*2) 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。</p> <p>⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者</p> <p>⑧文部科学大臣の指定した者</p>	<p>左記の①～⑩のいずれかの条件に該当する者で、入学時に現在・過去を問わず社会人経験を1年以上（卒業見込みの者は2年以上）を有する者</p>

- ⑨学校教育法第102条第2項の規定(飛び級入学)により大学院に入学した者であって、本学の大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの^{※注)}
- ⑩本学の大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの及び令和6年3月までに達するもの^{※注)}

※注) 出願資格⑨・⑩に該当し出願を希望する者は、資格審査を行います。審査書類受付期間及び提出書類については、4頁「5-(4)出願資格審査について」をご参照ください。

3 入学試験日・願書受付期間

※注) 出願資格⑨・⑩に該当する方は、資格審査に要する書類提出期間が異なります。4頁「5-(4)出願資格審査について」をご参照ください。

秋季(1回)と春季(1回)の2回実施します。

募集区分	入学試験日	願書受付期間 ^{※注)}
秋季入学試験	令和5年9月11日(月)	令和5年8月22日(火) ～8月24日(木)
春季入学試験	令和6年2月13日(火)	令和6年1月15日(月) ～1月18日(木)

4 願書受付時間・場所

◇ 受付時間

午前10時～午後4時(正午～午後1時を除く)

◇ 受付場所・問合せ先

福岡市城南区七隈八丁目19番1号(〒814-0180)

福岡大学大学院事務課 福岡大学中央図書館6階

TEL 代表(092)871-6631 内線2913～2916

※ 郵送の場合は、書留郵便とし受付最終日までに必着とします。

封筒の表には、「経済学研究科出願書類在中」と朱書きしてください。

5 出願手続

(1) 提出書類

※注) 出願資格⑨・⑩に該当する方は、提出書類が異なります。4頁「5-(4)出願資格審査について」をご参照ください。

【重要】 出願の前までに、指導教員として希望する教員に連絡をとることを義務付けています。

メールに、出願者の情報と指導を希望する教員名を書いて送信してください。

連絡先メールアドレス：gakuin@adm.fukuoka-u.ac.jp

《一般入学試験》	《社会人入学試験》
① 志願票(本学所定用紙) 副票・受験票(本学所定用紙)	① 志願票(本学所定用紙) 副票・受験票(本学所定用紙)
② 最終出身大学等の成績証明書	② 最終出身大学等の成績証明書
③ 最終出身大学等の卒業証明書又は卒業見込証明書	③ 最終出身大学等の卒業証明書
④ 学士の学位(見込)証明書 ※ 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者(見込)のみ。(出願資格②により出願する者のみ)	④ 学士の学位(見込)証明書 ※ 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者(見込)のみ。(出願資格②により出願する者のみ)
⑤ 研究計画書(本学所定用紙)	⑤ 研究計画書(本学所定用紙)
	⑥ 志望理由書(本学所定用紙)

<p>⑥ 志望理由書（本学所定用紙）</p> <p>⑦ 英語能力を証明する書類^{注3, 注4} ※ TOEFL-PBT, TOEFL-CBT, TOEFL-iBT, TOEIC L&R 公開テスト, IELTS (Academic Module), GRE, 実用英語技能検定（英検）のスコア証明書のいずれかの原本（コピー不可）を提出してください。 ※ 福岡大学において実施されたTOEIC L&R -IP テストの結果は有効と認めます。</p> <p>⑧ ERE ミクロ・マクロ成績証明書^{注5} ※ 専門科目の学力検査にERE ミクロ・マクロの成績利用を選択する場合のみ提出してください。</p> <p>⑨ 入学検定料領収書（本学所定用紙）</p> <p>⑩ 住所シート（本学所定用紙）</p>	<p>⑦ 英語能力を証明する書類^{注3, 注4} ※ TOEFL-PBT, TOEFL-CBT, TOEFL-iBT, TOEIC L&R 公開テスト, IELTS (Academic Module), GRE, 実用英語技能検定（英検）のスコア証明書のいずれかの原本（コピー不可）を提出してください。 ※ 福岡大学において実施されたTOEIC L&R -IP テストの結果は有効と認めます。</p> <p>⑧ ERE ミクロ・マクロ成績証明書^{注5} ※ 専門科目の学力検査にERE ミクロ・マクロの成績利用を選択する場合のみ提出してください。</p> <p>⑨ 入学検定料領収書（本学所定用紙）</p> <p>⑩ 住所シート（本学所定用紙）</p> <p>⑪ 資格保有者はその写し</p>
<p>注1：出願資格③・④・⑥・⑧に該当する者で、上記書類のうち提出不可能なものがある場合には、事前に大学院事務課へ相談してください。</p> <p>注2：出願資格によっては、上記以外の書類の提出をお願いすることがあります。</p> <p>注3：英語の学力検査は、TOEFL[®], TOEIC[®], IELTS, GRE, 実用英語技能検定（英検）の成績を利用します。</p> <p>注4：TOEFL等成績証明書とは、以下のものを指します。 ・TOEFL-PBT の場合は、Examinee Score Report（受験者用控えスコアレポート） ・TOEFL-CBT の場合は、Examinee Score Report（受験者用控えスコアレポート） ・TOEFL-iBT の場合は、Examinee Score Report（受験者用控えスコアレポート） ・TOEIC L&R 公開テストの場合は、Official Score Certification（公式認定証） ・IELTS の場合は、Test Report Form（成績証明書） ・GRE の場合は、Official Score Report ・実用英語技能検定（英検）の合格証書</p> <p>注5：日本語で受講を希望する者は、EREミクロ・マクロの成績利用又は日本語での筆記試験となります。事前に指導を希望する教員と相談し、どちらを選択するか決めてください。 英語で受講を希望する者は、英語での筆記試験のみとなります。</p>	

(2) 提出書類その他

- ・ 注) ・改姓がある場合は、戸籍抄本等をつける。
- ・ 証明書は1年以内に発行されたもの。

(3) 入学検定料の納入方法

入学検定料	32,000円
-------	---------

入学検定料は、最寄の金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く）から本学所定の「振込用紙」に記載された指定金融機関宛に振込んでください。

なお、振込みの際に受取った「入学検定料領収書（大学提出）」を、指定の入学検定料領収書貼付台紙に貼って、他の出願書類とともに提出してください。

(注) 自動振込機（ATM）から振込みを行う場合は、氏名の前に「振込用紙」の「整理番号」を必ずご入力ください。振込みを証明できるもの（利用明細票の写し）を指定の入学検定料領収書貼付台紙に貼って提出してください。

(注) インターネットバンキングによる振込みは受付できません。

(4) 出願資格審査について

出願資格⑨・⑩に該当し出願を希望する者は、資格審査を行いますので、以下の要領により所定の日時までに審査に要する書類を提出してください。

なお、審査の結果は、審査終了後、本人宛に通知します。

審査の結果、受験資格があると認められた者は、上記「(3)入学検定料の納入方法」に基づき、入学検定料を指定された日時までに納入し、その「入学検定料領収書（大学提出）」を指定の入学検定料領収書貼付台紙に貼って、大学院事務課へ提出してください。

◇ 提出期間等

秋季志願者：令和5年 7月10日(月)～ 7月12日(水)

春季志願者：令和5年12月 4日(月)～ 12月 6日(水)

◇ 受付時間

午前10時～午後4時(正午～午後1時を除く)

◇ 受付場所・問合せ先

福岡市城南区七隈八丁目19番1号(〒814-0180)

福岡大学大学院事務課 福岡大学中央図書館6階

TEL 代表(092)871-6631 内線2913～2916

※ 郵送の場合は、書留郵便とし受付最終日まで**に必着**とします。

封筒の表には、「**経済学研究科出願書類**在中」と朱書きしてください。

◇ 提出書類

【重要】出願の前までに、指導教員として希望する教員に連絡をとることを義務付けています。

メールに、出願者の情報と指導を希望する教員名を書いて送信してください。

連絡先メールアドレス：gakuin@adm.fukuoka-u.ac.jp

出願資格⑨による志願者	
◇出願資格⑨の条件 日本の大学から日本の大学院へ飛び級入学した者	
《一般入学試験》	《社会人入学試験》
<p>① 大学を卒業した者と同等以上の学力があると証明する資料がある場合は、その写し(英検、TOEFL[®]、TOEIC[®]、報告書、著書、論文等)</p> <p>② 志願票(本学所定用紙) 副票・受験票(本学所定用紙)</p> <p>③ 出身大学の成績証明書</p> <p>④ 在籍期間及び退学年月日が記載された出身大学の証明書</p> <p>⑤ 入学年月日が記載された出身大学院の証明書</p> <p>⑥ 研究計画書(本学所定用紙)</p> <p>⑦ 志望理由書(本学所定用紙)</p> <p>⑧ 英語能力を証明する書類^{注1、注2} ※ TOEFL-PBT、TOEFL-CBT、TOEFL-iBT、TOEIC L&R 公開テスト、IELTS (Academic Module)、GRE、実用英語技能検定(英検)のスコア証明書のいずれかの原本(コピー不可)を提出してください。 ※ 福岡大学において実施されたTOEIC L&R -IP テストの結果は有効と認めます。</p> <p>⑨ ERE ミクロ・マクロ成績証明書^{注3} ※ 専門科目の学力検査にERE ミクロ・マクロの成績利用を選択する場合のみ提出してください。</p> <p>⑩ 住所シート(本学所定用紙)</p>	<p>① 大学を卒業した者と同等以上の学力があると証明する資料がある場合は、その写し(英検、TOEFL[®]、TOEIC[®]、報告書、著書、論文等)</p> <p>② 志願票(本学所定用紙) 副票・受験票(本学所定用紙)</p> <p>③ 出身大学の成績証明書</p> <p>④ 在籍期間及び退学年月日が記載された出身大学の証明書</p> <p>⑤ 入学年月日が記載された出身大学院の証明書</p> <p>⑥ 研究計画書(本学所定用紙)</p> <p>⑦ 志望理由書(本学所定用紙)</p> <p>⑧ 英語能力を証明する書類^{注1、注2} ※ TOEFL-PBT、TOEFL-CBT、TOEFL-iBT、TOEIC L&R 公開テスト、IELTS (Academic Module)、GRE、実用英語技能検定(英検)のスコア証明書のいずれかの原本(コピー不可)を提出してください。 ※ 福岡大学において実施されたTOEIC L&R -IP テストの結果は有効と認めます。</p> <p>⑨ ERE ミクロ・マクロ成績証明書^{注3} ※ 専門科目の学力検査にERE ミクロ・マクロの成績利用を選択する場合のみ提出してください。</p> <p>⑩ 住所シート(本学所定用紙)</p>
<p>注1：英語の学力検査は、TOEFL[®]、TOEIC[®]、IELTS、GRE、実用英語技能検定(英検)の成績を利用します。</p> <p>注2：TOEFL等成績証明書とは、以下のものを指します。 ・TOEFL-PBTの場合は、Examinee Score Report(受験者用控えスコアレポート) ・TOEFL-CBTの場合は、Examinee Score Report(受験者用控えスコアレポート) ・TOEFL-iBTの場合は、Examinee Score Report(受験者用控えスコアレポート) ・TOEIC L&R 公開テストの場合は、Official Score Certification(公式認定証) ・IELTSの場合は、Test Report Form(成績証明書) ・GREの場合は、Official Score Report ・実用英語技能検定(英検)の合格証書</p> <p>注3：日本語で受講を希望する者は、EREミクロ・マクロの成績利用又は日本語での筆記試験となります。事前に指導を希望する教員と相談し、どちらを選択するか決めてください。 英語で受講を希望する者は、英語での筆記試験のみとなります。</p>	

出願資格⑩による志願者
◇出願資格⑩の条件 短期大学，高等専門学校，専修学校，各種学校の卒業生，その他の教育施設の修了者であること
《一般入学試験・社会人入学試験》
<p>① 大学を卒業した者と同等以上の学力があると証明する資料がある場合は，その写し（英検，TOEFL[®]，TOEIC[®]，報告書，著書，論文等）</p> <p>② 志願票（本学所定用紙） 副 票・受験票（本学所定用紙） ※ 志願票裏面の履歴書の職歴は，詳しく記入してください。業績がある者は記入してください。（業績とは，著書・研究論文・学会発表・特許，専門性に係る資格，実務経験等です。資格保有者は，その写しを添付してください。）</p> <p>③ 最終卒業又は修了学校の成績証明書</p> <p>④ 最終卒業又は修了学校の卒業証明書</p> <p>⑤ 研究計画書（本学所定用紙）</p> <p>⑥ 志望理由書（本学所定用紙）</p> <p>⑦ 英語能力を証明する書類^{注1，注2} ※ TOEFL-PBT，TOEFL-CBT，TOEFL-iBT，TOEIC L&R 公開テスト，IELTS (Academic Module)，GRE，実用英語技能検定（英検）のスコア証明書のいずれかの原本（コピー不可）を提出してください。 ※ 福岡大学において実施されたTOEIC L&R -IPテストの結果は有効と認めます。</p> <p>⑧ ERE ミクロ・マクロ成績証明書^{注3} ※ 専門科目の学力検査にERE ミクロ・マクロの成績利用を選択する場合のみ提出してください。</p> <p>⑨ 住所シート（本学所定用紙）</p>
<p>注1：英語の学力検査は，TOEFL[®]，TOEIC[®]，IELTS，GRE，実用英語技能検定（英検）の成績を利用します。</p> <p>注2：TOEFL等成績証明書とは，以下のものを指します。 ・TOEFL-PBT の場合は，Examinee Score Report（受験者用控えスコアレポート） TOEFL-CBT の場合は，Examinee Score Report（受験者用控えスコアレポート） TOEFL-iBT の場合は，Examinee Score Report（受験者用控えスコアレポート） ・TOEIC L&R 公開テストの場合は，Official Score Certification（公式認定証） ・IELTS の場合は，Test Report Form（成績証明書） ・GRE の場合は，Official Score Report ・実用英語技能検定（英検）の合格証書</p> <p>注3：日本語で受講を希望する者は，EREミクロ・マクロの成績利用又は日本語での筆記試験となります。事前に指導を希望する教員と相談し，どちらを選択するか決めてください。 英語で受講を希望する者は，英語での筆記試験のみとなります。</p>

※ TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS).
This (publication/ product/ website) is not endorsed or approved by ETS.

(5) 出願上の注意

- ① 該当する出願資格に記載された条件の内容を必ず確認してください。
- ② 出願書類に不備がある場合は受理しないことがあります。
- ③ 志願票及び副票・受験票の「志望専修科目」欄には，11頁～17頁の「1 募集専修科目と担当者及び授業内容の概要」から専修科目1科目を選定し，科目名及び担当者を記入してください。
- ④ 受験科目等の記入漏れがないように注意してください。
- ⑤ 一度払い込まれた入学検定料及び提出した書類（論文含む）の返還請求には応じません。

⑥ 健康の状況について

疾病・障がい等により、受験時および修学上配慮を必要とされる方は、出願前のできるだけ早い時期に大学院事務課へ相談ください。(症状についての具体的内容が記載された診断書を添えてください。障害者手帳をお持ちの方は、そのコピーも添えてください。)

6 受 験 票

- ※ 出願手続完了者には、「受験票」を送付します。
- ※ 試験日の5日前までに到着しない場合は、大学院事務課へ連絡してください。
- ※ 「受験票」は入学手続完了まで保管してください。

7 試験場・試験会場

福岡市城南区七隈八丁目19番1号 福岡大学

- ※ 試験会場については、試験日当日の午前8時30分に中央図書館西側1階入口(大学院エントランス)に掲示します。
- ※ 専門科目の学力検査に筆記試験を選択した受験生は、午前9時までに試験会場に集合してください。

8 試験科目・試験時間

試験時間	《一般入学試験》	《社会人入学試験》
9:00 }	受験上の注意	受験上の注意
9:15 } 10:45	志望専修科目に関する専門科目 ※ 11頁～17頁を参照 ※ 専門科目の学力検査に筆記試験を選択した場合のみ受験してください	志望専修科目に関する専門科目 ※ 11頁～17頁を参照 ※ 専門科目の学力検査に筆記試験を選択した場合のみ受験してください
13:00 }	面接 (口頭試問)	面接 (口頭試問)

注1：外国語科目「英語」の学力検査は、TOEFL/TOEIC/IELTS/GRE/英語検定試験のスコアを利用し、筆記試験は行いません。

注2：専門科目の筆記試験については、日本語を受講言語として選択した場合は日本語で、英語を受講言語として選択した場合は英語で出題します。

注3：専門科目の学力検査としてEREミクロ・マクロの成績を利用する者は、面接(口頭試問)のみとなります。面接の集合場所・時間は、受験票発送時にお知らせします。

9 合 格 発 表

① 合格発表日時

秋季入学試験 合格発表	令和5年10月2日(月)午前10時
春季入学試験 合格発表	令和6年3月4日(月)午前10時

② 合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には入学手続書類を郵送(簡易書留)します。不合格者への通知はいたしません。

◇掲示場所：大学院事務課前

③ 福岡大学公式ホームページ内の「大学院個別サイト」(<https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載いたします。

- ④ 可否に関する電話での問合せには一切応じません。
- ⑤ 出願書類及び入学手続書類等に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

10 入 学 手 続

- ※ 入学手続書類等の詳細な指示は、合格通知とともに通知します。
- ※ 入学申込金・授業料その他諸納入金の納入については、「(1) 入学に要する経費等」の学費等納入金表を参照してください。

(1) 入学に要する経費等（博士課程前期）

学 費 等 納 入 金 表

(単位：円)

区 分		本学学部卒業	本学大学院修了	他大学卒業・他大学院修了	備 考	
入学時 納入金	入学申込金(入学金)	100,000	0	100,000	入学年度のみ納入	
	第一期分 学費等納入金	第一期分授業料	235,000	235,000	235,000	毎年度納入
		第一期分教育充実費	60,000	60,000	60,000	
		委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
		(小計)	298,000	298,000	313,100	
計	398,000	298,000	413,100			
第二期 払込分	第二期分 学費等納入金	第二期分授業料	235,000	235,000	毎年度納入	
		第二期分教育充実費	60,000	60,000		60,000
	計	295,000	295,000	295,000		
初年度納入金 合計		693,000	593,000	708,100		

◆上記合計金額のうち、「入学申込金」及び「第一期分学費等納入金」として、下記の金額を所定の期日までに納入してください。(納入期限当日の収納日付印まで有効)

費 目	本学学部卒業	本学大学院修了	他大学卒業・他大学院修了
入 学 申 込 金	100,000	0	100,000
	◇納入期限：秋季入学試験合格者 令和5年10月17日(火) 春季入学試験合格者 令和6年3月13日(水)		
第 一 期 分 学 費 等 納 入 金	298,000	298,000	313,100
	◇納入期限：秋季入学試験合格者・春季入学試験合格者ともに 令和6年3月21日(木)		

※納入期限後はいかなる理由があっても受け付けできません。

※所定の期限までにこれらの手続きを完了してください。

※二年次以降の学費等納入金のうち、「委託徴収金」の金額には多少の変動が生じることがあります。

(2) 入学辞退について

- ① 合格発表後に入学を辞退する場合は『入学辞退届』を提出してください。
- ② 入学手続き終了後に入学を辞退する場合は『入学辞退届』を提出した方に限り、入学申込金(入学金)を除く第一期分学費等納入金を返還いたします。

11 その他

◇ 既修得単位認定制度

本学大学院に入学する前に本学大学院及び他の大学院（外国を含む。）において履修した授業科目について修得した単位は、当該研究科通常委員会の議を経て、15 単位を超えない範囲で本学の大学院における授業科目の履修により修得したものと認めることがあります。希望者は、申請条件や申請時期等について、出願前に大学院事務課へご確認ください。

◇ 奨学金制度

- ・日本学生支援機構奨学金と地方公共団体、民間団体が実施している奨学制度があり、広く活用しています。

これらの奨学金には、返還義務のある「貸与型奨学金」や返還義務のない「給付型奨学金」があり、条件もそれぞれ異なっていますので、事前の確認を忘れないようにしてください。

- ・募集・案内等は、内容に応じて大学院事務課前・中央・各学部事務室の掲示板およびF Uポータルで行います。担当窓口は、学生課の奨学金窓口です。

【貸与型奨学金例（返還義務のあるもの）】

種類	詳	細	
日本学生支援機構の奨学金	第一種奨学金 ・無利子 ・返還免除制度あり	人物、学業ともに優れ、経済的理由によって修学困難な学生に対し、日本学生支援機構から貸与される制度です。貸与期間は標準修業年限内です。 なお、収入基準額は、学部学生は家計支持者の収入額ですが、大学院生は本人の収入額です。	《募集時期》 ・予約採用 11月中旬（予定） 対象者 推薦入試並びに秋季入試合格者 ・在学採用 4月上旬 対象者 全在生
	第二種奨学金 ・有利子	【入学時特別増額貸与】 1年次において、第一種または、第二種奨学金の貸与を受ける方で、希望者は所定の手続きにより交付初回のみ増額して貸与を申込むことができます。（10万円・20万円・30万円・40万円・50万円から選択）	《採用人員（令和4年度実績）》《貸与額（月額）》 ・第一種奨学金 修士課程・博士課程前期 78名…（5万円・8万8千円） 博士課程後期 6名…（8万円・12万2千円） 博士課程 2名…（8万円・12万2千円） ・第二種奨学金 修士課程・博士課程前期 6名 博士課程後期 2名 博士課程 2名 【全課程共通】 （5万円・8万円・10万円・13万円・15万円）
	緊急奨学金（第一種）/無利子 応急奨学金（第二種）/有利子	家計の急変（主たる家計支持者が失職、破産、事故、病気若しくは死亡又は、火災、風水害の災害等）で奨学金を緊急・応急に必要とする場合（但し、事由発生から1年以内。）に申込むことができます。	

上記の内容で不明な点等があれば、学生課奨学金担当に相談してください。

◇ （修士課程・博士課程前期進学予定者対象）特に優れた業績による返還免除内定制度

大学院では、大学院在学中に日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受けた学生が、奨学金の貸与期間中に特に優れた業績を挙げたと認められる場合には、貸与奨学金の全額又は半額の返還が免除される、返還免除制度があります。

令和5年度より、修士課程（博士課程前期）へ進学を予定している学部生等を対象に、修学に係る経済的不安を早期に解消し、進学へのインセンティブを高めることを目的に「返還免除内定制度」が創設されました。

本制度への申請を希望する場合は、大学院入学前に申請手続きが必要です。対象者の条件や申請手続きを記載した募集要項は「大学院個別サイト」(<https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp/>)に掲載いたします。昨年度は1月上旬に掲載しておりますが、掲載時期は早まる可能性があります。

本制度について不明な点等があれば、大学院事務課奨学金担当へお問い合わせください。

【(参考) 日本学生支援機構ホームページ】

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/tetsuduki/syushinaitei.html>

※博士課程後期・博士課程進学者を対象とした返還免除内定制度については、入学後に募集を行いますので、対象者へ個別にお知らせいたします。

博 士 課 程 前 期

募集専修科目・担当者及び概要等

博士課程前期

1 募集専修科目と担当者及び授業内容の概要

		主 要 科 目			
分野	専修科目	授業科目	単位	担当者	授 業 内 容
経済史学	経済史Ⅰ（東洋）	経済史Ⅰ（東洋）講義A	2	教授 瀬戸林政孝	本講義では、近年、研究上、目覚ましい進展を遂げている近代アジアの経済史について最新の実証研究の成果をもとに講述し、18世紀から20世紀前半における東アジア・東南アジアを中心とした社会経済史の把握を目的とする。 演習では、参加者の興味・関心のある分野を重視しながら近代アジア史関連のテキストを輪読し、解説とディスカッションを行う。 講義、演習ともに経済史に関する基本的事実関係について習得していることが望ましいが、適宜、解説を行うので他分野の参加者も歓迎する。この点について心もとない参加者は学部3・4年生対象の「東洋経済史」の受講をお勧めする。
		経済史Ⅰ（東洋）講義B	2		
		経済史Ⅰ（東洋）演習	8		
	経済史Ⅱ（西洋）	経済史Ⅱ（西洋）講義A	2	講師 博士（経済学） 西村道也	経済史は、経済問題を歴史的に考える分野です。人類は、生存するために、生産や分配に代表される経済問題に取り組んできました。経済問題を解決する方法としては、伝統・命令・市場という三つの類型が歴史上存在するといわれています。これら三つの類型がどのように現れるのかは、時間と空間によって異なります。 我々が生きている現代は、市場が優勢な世界だと考えられています。その源流は、世界に先駆けて産業革命を経て工業化した西洋、特に西ヨーロッパであると考えられています。西洋経済史について思索する時間を持つことは、現代経済を考える上で意義のあることだといえるでしょう。 講義では、西洋経済史についての導入的なテキストを講読します。その際には、毎回担当を決めて、テキストの内容を要約した報告をしてもらい、教員が解説を行います。演習では、参加者の関心に配慮しながら、西洋経済史の担当者として、修士論文執筆の指導を行います。
		経済史Ⅱ（西洋）講義B	2		
		経済史Ⅱ（西洋）演習	8		
	経済史Ⅲ（日本）	経済史Ⅲ（日本）講義A	2	准教授 博士（経済学） 村松 怜	どのように日本の経済が成長してきたのか、どのように日本の産業が発展してきたのか、その時々どのような経済政策がとられてきたのか、人々の生活はどのように変化してきたのか、といった様々な観点から日本経済の歴史について専門的に学ぶことがこの授業の目的です。加えて、論文等で使用される資料についても目を配り、資料収集の方法や資料の利用方法などに関する基礎についても学びます。 日本経済史に関する学術論文を読み、専門的な学びをさらに深めると同時に、資料収集の方法・資料の使い方などを含めた、歴史研究で論文を執筆するための方法についても学びます。参加者は各自関心のあるテーマについて研究サーベイ、歴史資料のサーベイを行うなど研究を進めます。それらを通じて、実証的な論文を執筆することを最終的な目標とします。
		経済史Ⅲ（日本）講義B	2		
		経済史Ⅲ（日本）演習	8		
	社会思想史	社会思想史講義A	2	准教授 博士（経済学） 武井敬亮	社会思想史の授業は、近代社会を支える重要な概念・考え方がどのようにして生まれてきたのかを歴史的な文脈の中で把握することによって、近代社会の成立プロセスを理解することを目的としています。近代社会成立のメルクマールとして、政治的自由、宗教的自由、経済的自由の確立が挙げられます。社会思想史講義Aでは、17世紀のイギリスを中心に、宗教改革、内乱、革命を経て、政治的自由と宗教的自由がどのようにして確立されたのかを概観します。社会思想史講義Bでは、経済的繁栄をもたらす新たな問題に直面した18世紀のイギリスを中心に、政治的自由と経済的自由がどのようにして確立されたのかを概観します。 演習では、より専門的なトレーニングを行います。具体的には、17-18世紀イギリスの思想家の著作を中心に一次文献の精読を行い、資料分析の方法や思想史研究の進め方について指導を行います。併せて、資料調査やデータベースの活用方法についても学んでいきます。
		社会思想史講義B	2		
		社会思想史演習	8		
理論経済学	ミクロ経済学	ミクロ経済学講義A	2	准教授 赤羽根靖雅	ミクロ経済学の応用モデルを開発する力を培うことを目指す。そのために、消費者、企業などの経済主体の目的関数や制約式の性質について学ぶ。また、情報の経済学のモデルを理解することに努める。目的関数や制約式を学ぶのは、理論モデルの構造を理解し、結論を正しく把握するために必要だからである。また、応用ミクロ経済学を分析していく上で情報の問題は重要だから、情報の経済学の理解は応用モデルを開発する基礎として必要である。 上記の目的を達成するために、具体的な題材として企業金融や企業組織を選ぶ。数理的モデルとしては比較的単純だから、情報が経済活動にどのような影響を与えるのかを理解し、制約条件と結論の因果関係について学ぶのに適しているからである。
		ミクロ経済学講義B	2		
		ミクロ経済学演習	8		
	国際貿易理論	国際貿易理論講義A	2	教授 Ph. D. 井手豊也	この講義では、まず、貿易理論の基礎となるヘクシャー・オリー・モデルを、簡単な数式を用いて解析してゆく。 これは、ミクロ理論における一般均衡の分析手法を貿易理論に取り入れたものである。その内容は、図と簡単な数式を用いながら、ヘクシャー・オリー・モデルにおける主たる定理である比較優位の決定、所得の再配分（ストルパー・サミュエルソンの定理）、成長問題（リプシンスキーの定理）、貿易政策（関税、数量制限等）の効果を分析してゆく。次に、上記のモデルに、規模の経済性を取り入れたモデルを、同じように解析してゆく。ここでは、調整メカニズムが必要になるため、これについても論じてゆく予定である。 この演習では、まず、貿易理論の分析に必要な、ミクロ理論の復習から入り、これらの分析力を、Jones氏の論文（英文）を読み理解する事によって、養ってもらいたい。論文の数は、進む速度で調整して行く。
		国際貿易理論講義B	2		
		国際貿易理論演習	8		

主 要 科 目					
分野	専修科目	授業科目	単位	担当者	授 業 内 容
理 論 經 済 学	理論経済学	理論経済学講義A	2	教授 Ph. D. 渡 邊 淳 一	専門の論文を読めるだけの英語力と数学および経済学の素養を付けるため、下記のテキスト、あるいはこれらと同等のものを用いて、ミクロ経済学やゲーム理論の基礎を講義します。 [1] では Individual and Social Choice, The Price Mechanism, Noncooperative Game Theory, Topics of Information Economics など、 [2] では The core, Stable Sets, the Bargaining Set, and the Sharpley Valueなどを考えています。 [1] K reps, David M. 1990. A Course in Microeconomic Theory. Princeton University Press. [2] Osborne, Martin J., and Ariel Rubinstein 1994. A Course in Game Theory. The MIT Press.
		理論経済学講義B	2		
		理論経済学演習	8		
	ゲーム理論	ゲーム理論講義A	2	教授 博士(経済学) 西 原 宏	この講義では、非協力ゲーム理論の基本概念とその応用について解説します。各概念の解説の後、問題演習によって理解を明確にします。さらに応用例を紹介して、ゲーム的状况をモデル化し分析する方法について解説します。 この演習では、非協力ゲーム理論を用いて経済問題を分析し修士論文を作成します。前半では、文献を精読し、セミナー形式で発表することを行います。これを通して、問題の立て方、モデル化の仕方、分析方法を習得し、さらに研究テーマを決定します。後半では、モデルの分析と分析結果の意味づけ、論文作成を行います。
		ゲーム理論講義B	2		
		ゲーム理論演習	8		
	協力ゲーム理論	協力ゲーム理論講義A	2	教授 博士(経済学) 近 郷 匠	この講義・演習では協力ゲーム理論の基礎を学習します。協力ゲーム理論とは、複数の人々の間での提携行動を分析するための数学理論です。政党・派閥・会派の結成、企業間合併や業務提携、新入社員の部署への配属、あるいはサークルへの入会など、我々の身の回りで人々(あるいは会社など)がグループを形成する例を挙げればきりがありません。こういったグループの形成行動を分析し、例えば議会における各政党の影響力を評価したり、共同プロジェクトでの公平な利潤分配ルールを決定したり、あるいは自治体が地域の子供それぞれの希望に基づいて、地域のどの公立学校に入学させるか決める制度を設計したりする際に、協力ゲーム理論は有益な示唆を与えてくれます。これらの中でも特に、公立学校の入学先決定にも応用される「2部マッチング理論」を中心に、その基礎を理解することを目指します。
		協力ゲーム理論講義B	2		
		協力ゲーム理論特習演習	8		
	経済数学	経済数学講義A	2	教授 Ph. D. 藤 本 浩 明	経済数学は、経済学の一分野ではない。慎重に単純化したモデルを用いて、複雑な経済現象の因果関係を分析し、その中に潜む法則を見出すための科学的方法のひとつである。ここで、科学的とは、広辞苑によると、体系的であり、経験的に実証可能な知識のことを言う。もちろん、経済モデルが数学的である必要はないが、数学的であれば、モデルは変数とパラメータからなる方程式で表現されるため、適切な計算をすることで、科学的な結論を得ることができる。そこで、本講義ならびに演習では、例えば、チャン著「現代経済学の数学基礎(第4版)」CAP社の教科書などを通じて、科学的方法を学ぶとともに、最適な税制ならびに所得格差の不平等尺度およびリスク管理に応用することを考える。
		経済数学講義B	2		
		経済数学演習	8		
	社会的選択理論	社会的選択理論講義A	2	教授 博士(経済学) 佐 藤 伸	本講義・演習では、社会的選択理論の基礎を学習します。複数の意見、好み、判断を何らかの方法で集計することを社会的選択と呼び、望ましい集計方法の設計可能性を探る理論を社会的選択理論と呼びます。社会的選択理論の応用例は選挙や経済政策の決定、あるいは財の分配といったものから家族で夏休みにどこに行くかといったことまで多岐にわたります。そう考えると社会的選択の結果はわれわれの生活に大きくかかわっていることが分かります。したがって、「正しい」方法にしたがって社会的な選択を行うことが重要となりますが、「正しい」方法の満たすべき性質はどのようなものか、そしてそのような性質を満足するような社会的選択の方法を設計することが可能であるのかについて現在に至るまで膨大な研究がなされています。それらのうちで特に重要なものについて理解することを目指します。
		社会的選択理論講義B	2		
		社会的選択理論演習	8		
	経済学史	経済学史講義A	2	教授 博士(経済学) 山 崎 好 裕	経済学は、現代まで250年に渡って発展してきました。この講義ではその歴史を英語のテキストを通じて学んでいきます。具体的には、前期Aで、重商主義、古典派経済学、マルクス経済学、限界学派、新古典派、後期Bで、ケインズ学派、マネタリズム、新古典派マクロ経済学、実物的景気循環アプローチ、ニュー・ケインジアンという順番です。数学についても基礎から説明します。また、前期A・後期Bとも1回ずつのテストを行って、知識が定着しているか確かめます。 この演習では、前期に計量経済ソフトEViewsを使って、計量分析の手法を一通り学んでいきます。具体的には、基本的な推計法、より進んだ推計手法、最小二乗法以外の推計法、機械的予測法、単位根と共和分の問題、季節調整とフィルターの問題などを扱います。後期は、論文を読んで皆で議論しながら、各自の研究を進めていきます。1年生は自分の研究テーマを確定していくことになり、2年生は実際に修士論文を完成させていきます。
		経済学史講義B	2		
		経済学史演習	8		

分野		主 要 科 目			授 業 内 容
専修科目	授業科目	単位	担当者		
理 論 経 済 学	経済動学	経済動学講義A	2	准教授 博士(経済学) 西田圭吾	<p>経済成長理論を学び、学術論文を読むための分析手法を身に付けることが本講義の目的です。講義の前半では、基本的な新古典派成長モデルや内生成長モデルについて取り扱います。また、それらを学習するうえで必要となる微分・差分方程式や動学的最適化についても扱います。講義の後半では、受講生の関心に合わせて、より発展的な内容について議論します。</p> <p>修士論文の作成を念頭に演習を行います。論文のテーマを選定するために、最近出版された学術論文やNBERなどのワーキングペーパーを読んだり、受講生の関心のある研究領域について自身で文献のサーベイをしてみたりします。</p>
		経済動学講義B	2		
		経済動学演習	8		
	マクロ経済学	マクロ経済学講義A	2	講師 博士(経済学) 秋本清香	<p>本講義の目的は、マクロ経済モデルを用いた分析方法を習得し、政策や制度が経済に与える影響を分析し、理解できるようになることです。まず、代表的個人モデルや世代重複モデルといったマクロ経済モデルを学びます。そのうえで、これらのモデルを用いて、税や公債、公共サービス、公共資本、死亡率、出生率、年金システムなどが経済に与える影響を理論的に考えます。</p> <p>本演習では、上記の講義内容に関連する学術論文や書籍を輪読していきます。また、各自で興味関心のある研究テーマを決定し、その研究テーマに関する既存研究のサーベイもしてもらいます。</p>
		マクロ経済学講義B	2		
		マクロ経済学演習	8		
	応用マクロ経済学 (当該年度は募集しない)	応用マクロ経済学講義A	2	教授 Ph.D. 高瀬光夫	<p>本講は、マクロ経済学の基本を理解し、インフレや失業などのマクロ経済現象だけでなく、経済全体に影響を与える様々な問題や政策について分析できる力を養うことを目的とします。マクロ経済モデルは一般均衡モデルの適用事例の一つとみることができ、本講では、まず、基礎的な一般均衡モデルの構造についての知識とそのモデルを使った分析手法を学び、次に、経済をさまざまな角度から捉えた一般均衡モデルの応用例を学びます。</p> <p>本演習は、マクロ経済問題とマクロ経済政策そしてマクロ経済学自体が直面するさまざまな課題について理解を深めることを目的にします。本演習を通じて、修士論文の研究テーマとして関心が持てる問題を見つけ出し、参考文献を読み進めていきます。受講生が希望する文献を輪読する予定ですが、特に希望がなければ、拙訳書でミラー&ベンジャミン著「マクロイシューの経済学」ピアソン桐原、2010年を輪読します。</p>
		応用マクロ経済学講義B	2		
		応用マクロ経済学演習	8		
応用 経済学・ 経済 政策学	公共経済学	公共経済学講義A	2	教授 博士(国際公共政策) 玉田桂子	<p>公共経済学特講講義では、学部レベルのミクロ経済学(数学も含む)を踏まえた上で理論的、実証的な側面から課税が行われたときにどのようなことが起こるかを解説する。具体的には、政府はどのように税制をデザインすべきか、税金はどのように経済行動に影響を及ぼすのか、どのような人々が税制改革により得をし、損をするのかを明らかにする。講義を通じて政策が行われるときの便益とコストのトレードオフを考えられる力を養う。</p> <p>演習では、Journal of Public Economics, Journal of Human Resources, Journal of Labor Economics などの英文雑誌から公共経済、労働経済、社会保障に関する実証論文を輪読する。理論モデルや計量経済学的な細かい手法には捉われず、論文のアウトラインが理解できるように論文の読み方を身につける。合わせて、先端の研究ではどのようなことに関心もたれているのかについても学習していく。</p>
		公共経済学講義B	2		
		公共経済学演習	8		
	所得再分配論	所得再分配論講義A	2	准教授 博士(経済学) 中村由依	<p>日本の所得格差について、その測定や評価の方法、原因となりうる教育の機能や個人の健康状態、結果として直面する貧困問題を、理論・実証研究の両方から学び多角的に日本の現状を把握しながら、将来目指すべき所得再分配の方法を議論していきます。</p> <p>上記のテーマを扱っている文献や論文を読むためには、ミクロ経済学や英語の知識が欠かせませんので、既習の学生の受講を希望します。また、受講者の希望によって輪読する文献リストを多少変更することがあります。</p>
		所得再分配論講義B	2		
		所得再分配論演習	8		
	証券経済論	証券経済論講義A	2	教授 有岡律子	<p>金融には、マクロ金融政策や金融システムの分析、企業の財務・会計、金融工学などといった幅広い内容が含まれる。本講義では、このうち、インベスト・ファイナンス(資産運用)、コーポレート・ファイナンス(資金調達/事業投資/キャッシュマネジメント)について、基礎的事項や理論、実務的なもの等について学んでいく。</p> <p>講義で学んだことをもとに、関心のある金融テーマについて、論文をまとめることを目標とする。</p>
		証券経済論講義B	2		
		証券経済論演習	8		

主 要 科 目		授 業 科 目		授 業 内 容	
分野	専修科目	授業科目	単位	担当者	授 業 内 容
応用 経済学・ 経済政策学	米中日経済分析	米中日経済分析講義A	2	教授 博士(経済学) 万 軍 民	概要：①米中日の経済の発展過程、現状、問題点、例えば、資産バブルの生成と崩壊、金融と経済危機、長期不況、就職難、財政赤字と政府破綻危険性などをそれぞれ理解し、この三か国経済への関心をより一層深めることを目標とする。②米中日の3カ国では、特に米日において確立された金融システムが実体経済と乖離したとき、経済危機が生じる。日本の「失われた20年」および米国経済危機の生成メカニズムの本質を解き明かし、現代及び未来の世界、特に中国への教訓と対策を導く。③現在の米中間の経済問題、日中間の経済問題、そして日米間の経済問題を認識し、これらの問題の要因と解決方法などを探る。④今後の米中日の発展の行方を展望する。
		米中日経済分析講義B	2		
		米中日経済分析演習	8		
	金 融 論	金 融 論 講 義 A	2	准教授 Ph.D. 野 澤 亘	New Monetarist アプローチと呼ばれる、貨幣がなぜ社会的に有用かを定めるフリクションを明示する貨幣経済学の理論について学ぶ。最初に、必要となる数学の準備を行う。続いて主要な基礎的モデルであるKiyotaki-Wrightモデル、Shi-Trejos-Wrightモデル、Lagos-Wrightモデルを学び、後半では貨幣と信用の共存しうるモデルを扱う最近の論文について講義する。分析方法と、貨幣に関する現象の説明、金融政策に対する知見を中心に講義を行う。
		金 融 論 講 義 B	2		
		金 融 論 演 習	8		
	財 政 学	財 政 学 講 義 A	2	准教授 博士(経済学) 山 下 耕 治	本講義・演習では、日本経済の諸問題について現状を把握し、その諸問題について、政府が果たすべき役割を議論・研究する。本講義・演習の目標は、政府行動に関して経済学的に正しい理解と評価ができるようになることにある。
		財 政 学 講 義 B	2		
		財 政 学 演 習	8		
	労 働 経 済 学	労 働 経 済 学 講 義 A	2	准教授 Ph.D. 恩 田 正 行	労働経済学講義AとBの講義では、応用ミクロ経済学としての労働経済学を学習します。具体的には、前者で日本の労働市場、労働供給、労働需要、そして教育・訓練と人的資本などに関連する理論モデルと実証手法を学びます。後者で長期雇用の賃金決定のメカニズム、転職・就職、賃金格差、失業と不安定雇用、そして高齢者の就業と引退などに関連する理論モデルと実証手法を学びます。
労 働 経 済 学 講 義 B		2			
労 働 経 済 学 演 習		8			
確 率 過 程 ファイナンス 〔当該年度は 募集しない〕	確 率 過 程 ファイナンス講義A	2	教授 Ph.D. 小 島 直 樹	Since contribution by Black, Scholes and Merton, finance via stochastic process has now come to be common knowledge in economics. This course aims to introduce students to finance by way of stochastic process. Students are warned that the learning curve is quite steep.	
	確 率 過 程 ファイナンス講義B	2			
	確率過程ファイナンス 演習	8			

主 要 科 目					
分野	専修科目	授業科目	単位	担当者	授 業 内 容
応用経済学・経済政策学	環境経済学	環境経済学講義A	2	准教授 博士(経済学) 江口昌伍	講義の前半部分では、経済学の基礎である需要・供給曲線を用いて、外部不経済の存在によって市場メカニズムが有効に機能しなくなることを学びます。続けて、再生可能資源が誰でも利用可能な状況下において枯渇してしまう、いわゆるコモンズの悲劇や、環境税と補助金の効果の違い、排出量取引制度のメリットと問題点などを学び、外部不経済を内部化する手段についての理解を深めます。また、後半部分では、環境・エネルギー経済分野の実証分析でよく用いられる分析ツールである要因分解法やデータ包絡分析法などを、適宜パソコンによる演習を交えながら学んでいきます。
		環境経済学講義B	2		
		環境経済学演習	8		
	公共政策論	公共政策論講義A	2	講師 博士(経済学) 森田薫夫	「公共政策論講義A」では、主に租税の帰着(Tax incidence)および最適課税(Optimal tax)の問題に注目し、社会的に望ましい物品税と所得税のあり方について考察する。「公共政策論講義B」では、主に租税競争(Tax competition)の問題に注目し、異なる国や地域間を資本が移動する状況下において租税が経済活動に与える影響について考察する。各講義では、それぞれの問題に関する基礎的な経済モデルを学び、理論的・実証的課題について理解を深める。
		公共政策論講義B	2		
		公共政策論演習	8		
計量経済学・統計学	計量経済学	計量経済学講義A	2	准教授 博士(経済学) 田中昌宏	This course provides insights into machine learning through the unifying lens of probabilistic modeling and Bayesian decision theory in the context of economic studies. All applicants should be familiar with multivariate calculus, linear algebra, probability theory, statistical inference, and coding in Python. Primary Textbook: Kevin P. Murphy. Probabilistic Machine Learning: An Introduction. MIT Press. 2022. Supplementary Reading: Sergios Theodoridis. Machine Learning: A Bayesian and Optimization Perspective, Second Edition. Academic Press. 2020.
		計量経済学講義B	2		
		計量経済学演習	8		
	統計学・因果推論	統計学・因果推論講義A	2	准教授 Ph. D. 原田勝孝	規制や政策、法律、制度が政治や経済、社会に与える影響をデータから検証するために必要な計量分析およびその応用としての因果推論の方法を統計学の基礎から学びます。統計学の基礎から学ぶのは、大学院レベルの授業では、ただ統計ソフトをクリックして分析するというのではなく、自らが実行する手法や細かいオプションについてどのような過程で計算されるのか理解している必要があるためです。また、本講義ではRを用いて適宜、実習を行います。基本操作については扱う時間は無いため、受講者は予めRの基本操作について習熟していることを履修の前提とします。 演習では、講義で扱った内容の応用例として学術論文を輪読しつつ、修士論文執筆のための指導を行います。
		統計学・因果推論講義B	2		
		統計学・因果推論演習	8		

分野		主 要 科 目		授 業 内 容	
専修科目	授業科目	単位	担当者	授 業 内 容	
行動経済学・地域科学	社会経済学	社会経済学講義A	2	教授 姜 文 源	この授業において、経済学はその研究対象ではなく、研究の方法論として定義される。人々の最適化に基づく選択行為は、すべて経済学の研究対象として考える。 価格、市場、取引、貨幣などの言葉の意味する本質を考えれば、これらの言葉がより幅広く定義でき、経済学の研究対象が人間のすべての選択行為に及ぶことがわかる。 特に、この授業では以下の項目について経済学的分析を行う。: 1.差別と移民 2.犯罪、罰、権利 3.家族 4.政府と政治 5.健康、宗教、大衆的行動 <テキスト> Tommasi and lerulli "The New Economics of Human Behavior" Cambridge U. P. 1995.
		社会経済学講義B	2		
		社会経済学演習	8		
	アジア経済文化相関論	アジア経済文化相関論講義A	2	教授 博士(学術) 辰 己 佳 寿 子	本講義では、「経済」を、カール・ポランニー (Karl Polanyi) のいう、経済的な制度と非経済的な制度に埋め込まれ編みこまれている「人間の経済」という広義の意味で捉え、日本を含むアジアの農村社会の社会経済的現象をどのように分析していくことが可能であるかを追求する。なかでも経済的要素と文化的要素に焦点をあて、重層的な社会(個人、家族・親族、組織、国家、国際社会等)の相関を考察していく。まず、経済人類学、社会経済学、社会的行為論や社会システム論を理解し、それらの成果と課題を明確にする。その後、経済文化相関論という新しいアプローチを用いて、アジアの農村の事例分析を行う予定である。
		アジア経済文化相関論講義B	2		
		アジア経済文化相関論演習	8		
	都市情報論	都市情報論講義A	2	教授 博士(工学) 五十嵐寧史	消費者の購買行動では財を認知する段階の情報が重要である。近年、個人の嗜好に合致した財の情報を提供する「リコメンデーションサービス」が実用化しつつある。莫大な情報の中から個人にとって重要な情報に絞ることは、歩行中にリアルタイムに地理的情報を提供する歩行者ナビゲーションや、ネットショッピングにとって極めて重要なサービスとなる。手法としてはキーワードによる検索、過去の購買履歴などから関心を持ちうる商品を推定する協調フィルタリング、行動ターゲット広告などがあるが、いずれも電子化されたデータの存在を前提とする点が制約である。この制約は特に商品点数が多いコンテンツ(書籍、アニメ、映画、音楽など)には強く効く。またコンテンツを発見する手がかりがキーワード・言語で表現しにくい場合は、既存データから検索する手法は実用的でなくなってくる。 これに対し、SNS (Social Network Service) が注目されている。社会的ネットワークをインターネット上で構築する仕組みであるが、参加者のつながり方を使ってのリコメンデーションサービスや、参加者のもつ知識を引き出す機能も期待でき、個人の嗜好にあった商品を見出す手段として有力となりうる。
		都市情報論講義B	2		
		都市情報論演習	8		
	都市モデル解析	都市モデル解析講義A	2	教授 博士(工学) 李 明 哲	われわれが住んでいる社会はさまざまな問題を抱えています。これらの問題を数理的に解析し、その本質を探るとともに、効率化という視点から、実際に存在している諸問題の改善あるいは解決を図るのは、社会的・経済的視点から考えて重要な意味をもっています。本特講講義では、関連文献を通じて、このような研究内容への理解を深めることにします。また、同特講演習では、そのための数理的・計算機的準備を行い、それをもとに应用モデルの構築と解析を進めて、修士論文のテーマにしていきます。
		都市モデル解析講義B	2		
		都市モデル解析演習	8		

主		要		科		目	
分野	専修科目	授業科目	単位	担当者	授業内容		
行動経済学	都市システム解析	都市システム解析A	2	教授 博士(経済学) 梶井昌邦	本講義の目的は、都市・地域データ解析のためのモデル開発を行う基礎的能力を習得することである。本年度は、最近注目を集めている、データマイニング(data mining)の理論や、そこで用いられるアルゴリズムを学習していくこととする。データマイニングとは、数ギガ、数テラといった巨大なデータベースから、そこに潜む有益な知識やパターンを発見する技術、もしくは、データ解析手法の総称であり、統計学、人工知能、機械学習等、幅広い背景をもつ学際的な学問分野である。講義では、(1)ニューラルネットワーク、(2)決定木分析、(3)連関規則、(4)ベイジアンネットワーク、(5)遺伝的アルゴリズム、といった話題に関する基礎的文献を輪読し、都市・地域データ適用のためのアルゴリズム開発や理論的拡張の可能性を考察する。		
		都市システム解析B	2				
		都市システム解析演習	8		本演習では、データマイニング(data mining)の諸分野の中から受講生が関心ある分野をいくつか取り上げ、最新の研究の流れを展望するとともに、実際の消費者行動データや小売関連データへの手法の適用を行う。このため、初歩的なプログラミング能力を備えていることを前提とする。		
地域科学	地域経営論 (当該年度は募集しない)	地域経営論講義A	2	教授 木下敏之	「地域経営」は、その地域の行政組織の運営にとどまらず、その地域の企業や農林漁業者、小規模な事業者などの経済活動の振興、それを支える道路や河川などの公共基盤の整備、教育を通じた人材育成、医療や福祉体制の整備などを含む幅広い概念です。本講義・演習では、地域経営を構成する各要素を学び、実際の地域経営を考える際の思考方法を取得することを目的としています。学生には、人口規模による地域運営の違いや、企業誘致型、農林水産業振興型、観光型などの地域経営の実例をケーススタディしてもらい、後半では、出身地など特定の自治体について、地域経営の計画及び実行のための方策を作成していただきます。		
		地域経営論講義B	2				
		地域経営論演習	8				
データサイエンス	データサイエンス	データサイエンス講義A	2	講師 博士(工学) 熊谷惇也	本講義では、QGISやRといったフリーソフトおよびオープンデータを利用して、地理情報システム(GIS)の利用や個人レベルデータ分析の実施を行い、交通の改善や環境保全の価値、人々の主観的福利の改善といった文脈でデータ分析手法の習得を目指します。統計分析手法の習得に当たっては、分析手順だけでなく、その分析手法の推定における数理的な考え方の理解を深めることも目的とします。		
		データサイエンス講義B	2				
		データサイエンス演習	8		本演習では、実際に研究トピックの考案、研究計画の提案、提案した研究トピックに関する既存研究の調査、及び調査した内容のまとめおよび共有などを行ってもらいながら、データ分析を通して研究に取り組む方法を身に付けることを目標とします。また、提案したトピックに関する分析手法の考案や選択、分析の実施、結果のまとめと解釈・考察などを、演習を通して進めてもらいます。		

主		要		科		目	
分野	専修科目	授業科目	単位	担当者	授業内容		
応用経済学・経済政策学	経済政策理論 (令和6年度は開講未定)	経済政策理論講義A	2	非常勤講師 今泉博国	環境政策に関連する内容を2つの部分に分けて講義する。まず、前半部分では環境政策の目標・手段・主体に関する議論の基礎となる厚生経済学の内容(余剰概念、市場機構とパレート効率性、外部性、社会厚生関数、補償原理)を解説したい。後半部分では現実に生起している環境問題に対し、政府や自治体がいかなる対策を講じているのか、また講ずるべきであるかを議論していきたい。加えて地域再生と環境保全に関わる最近の議論をも紹介したい。		
		経済政策理論講義B	2				
行動経済学・地域科学	社会工学 (令和6年度は開講未定)	社会工学講義A	2	非常勤講師 博士(工学) 齋藤参郎	消費者回遊行動分析に関連する話題を選択し、ゼミ形式で、教科書の購読・計算機実習を行います。本年度は、SargentのQuantEconのコースウェア、Angristの計量経済学、Pearlの統計的因果推論、私のKaiyu Studiesの中から題材を選択します。講義を通して、クラウド環境を利用したPythonプログラミングや動的計画法などの計算の方法を理解・実行できるようになる、Potential OutcomeやPropensity Scoreによる因果の計量経済学やCausal Diagramによる因果推論の考え方を理解できるようになる、分析目的を達成するため、どのような統計的モデリングとデータ分析を行うかの考え方の基礎が理解できるようになる、が目標です。 [1] Sargent TJ, Stachurski J (2022) Quantitative Economics with Python [2] Angrist JD, Pischke J-S (2009) Mostly harmless econometrics, Princeton Univ. Press [3] Pearl J, Glymour M, Jewell NP (2016) Causal inference in statistics: a primer. Wiley [4] Saito S, Yamashiro K, (eds) (2019) Advances in kaiyu studies: From shop-around movements through behavioral marketing to town equity research. Springer-Nature		
		社会工学講義B	2				
租税論 (令和6年度は開講未定)	租税論	租税論講義A	2	非常勤講師 宮本昌典	租税理論(前半部分)と租税制度(後半部分)について講義する。取り扱うテーマは以下のようものである。 前半部分: 課税の基本概念、租税の分類、租税原則、課税の公平、租税の転嫁・帰着、課税の超過負担、課税と経済的誘因、最適課税論。 後半部分: シェアプ勧告、個人所得課税、法人所得課税、消費課税、資産課税、環境保全課税、税制改革。		
		租税論講義B	2				

博 士 課 程 後 期

《一般入学試験・社会人入学試験》

博士課程後期

《一般入学試験》《社会人入学試験》

1 募集人員

研究科名	専攻名	課程名	標準修業年限	入学定員 [*]
経済学研究科	経済学専攻	博士課程後期	3年	3名

※入学定員には、専攻で実施するすべての入学試験の人員を含みます。

2 出願資格

《一般入学試験》	《社会人入学試験》
<p style="text-align: center;">次の①～⑧のいずれかの条件に該当する者</p> <p>①修士の学位を有する者又は学校教育法第104条第1項に規定する専門職大学院の課程を修了し文部科学大臣の定める学位を有する者及び令和6年3月までに取得見込みの者</p> <p>②外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者</p> <p>③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者</p> <p>④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者</p> <p>⑤国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者</p> <p>⑥外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者</p> <p>⑦文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑧本学の大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの及び令和6年3月までに達するもの^{※注)}</p>	<p style="text-align: center;">次の①～⑧のいずれかの条件に該当する者で、最終学校を修了・卒業又は退学後、入学時に社会人経験3年以上の者</p> <p>①修士の学位を有する者又は学校教育法第104条第1項に規定する専門職大学院の課程を修了し文部科学大臣の定める学位を有する者(令和3年3月以前に学位を授与された者)</p> <p>②外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者(令和3年3月以前に学位を授与された者)</p> <p>③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者(令和3年3月以前に学位を授与された者)</p> <p>④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者(令和3年3月以前に学位を授与された者)</p> <p>⑤国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者(令和3年3月以前に学位を授与された者)</p> <p>⑥外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者</p> <p>⑦文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑧本学の大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、28歳に達したもの及び令和6年3月までに達するもの^{※注)}</p>
<p>※注) 出願資格⑧に該当し出願を希望する者は、資格審査を行います。審査書類受付期間及び提出書類については、22頁「5-(4)出願資格審査について」をご参照ください。</p>	

3 入学試験日・願書受付期間

※注) 出願資格⑧に該当する者は、資格審査に要する書類提出期間が異なります。22頁「5-(4)出願資格審査について」をご参照ください。

春季(1回)のみ実施します。

募集区分	入学試験日	願書受付期間 ^{※注)}
春季入学試験	令和6年2月13日(火)	令和6年1月15日(月) ～1月18日(木)

4 願書受付時間・場所

◇ 受付時間

午前10時～午後4時(正午～午後1時を除く)

◇ 受付場所・問合せ先

福岡市城南区七隈八丁目19番1号(〒814-0180)

福岡大学大学院事務課 福岡大学中央図書館6階

TEL 代表(092)871-6631 内線2913～2916

※ 郵送の場合は、書留郵便とし受付最終日までに必着とします。

封筒の表には、「経済学研究科出願書類在中」と朱書きしてください。

5 出願手続

(1) 提出書類

※注) 出願資格⑧に該当する方は、提出書類が異なります。22頁「(4)出願資格審査について」をご参照ください。

【重要】 出願の前までに、指導教員として希望する教員に連絡をとることを義務付けています。

メールに、出願者の情報と指導を希望する教員名を書いて送信してください。

連絡先メールアドレス: gakuin@adm.fukuoka-u.ac.jp

《一般入学試験》	《社会人入学試験》
① 志願票(本学所定用紙) 副票・受験票(本学所定用紙) ② 出身大学及び大学院の成績証明書 ③ 出身大学院の修了証明書又は修了見込証明書 ④ 他大学院出身者は、修士論文又はこれに代わるもの ⑤ 研究計画書(本学所定用紙) ⑥ 志望理由書(本学所定用紙) ⑦ 英語能力を証明する書類 ^{注3, 注4} ※ TOEFL-PBT, TOEFL-CBT, TOEFL-iBT, TOEIC L&R公開テスト, IELTS (Academic Module), GRE, 実用英語技能検定(英検)のスコア証明書のいずれかの原本(コピー不可)を提出してください。 ※ 福岡大学において実施されたTOEIC L&R -IPテストの結果は有効と認めます。 ⑧ 入学検定料領収書(本学所定用紙) ⑨ 住所シート(本学所定用紙)	① 志願票(本学所定用紙) 副票・受験票(本学所定用紙) ② 出身大学及び出身大学院の成績証明書 ③ 出身大学院の修了証明書 ④ 他大学院出身者は、修士論文又はこれに代わるもの ⑤ 研究計画書(本学所定用紙) ⑥ 志望理由書(本学所定用紙) ⑦ 英語能力を証明する書類 ^{注3, 注4} ※ TOEFL-PBT, TOEFL-CBT, TOEFL-iBT, TOEIC L&R公開テスト, IELTS (Academic Module), GRE, 実用英語技能検定(英検)のスコア証明書のいずれかの原本(コピー不可)を提出してください。 ※ 福岡大学において実施されたTOEIC L&R -IPテストの結果は有効と認めます。 ⑧ 入学検定料領収書(本学所定用紙) ⑨ 住所シート(本学所定用紙) ⑩ 資格保有者はその写し

注1：出願資格②・③・⑤～⑦に該当する者で、上記書類のうち提出不可能なものがある場合には、事前に大学院事務課へ相談してください。

注2：出願資格によっては、上記以外の書類の提出をお願いすることがあります。

注3：英語の学力検査は、TOEFL[®]、TOEIC[®]、IELTS、GRE、実用英語技能検定（英検）の成績を利用します。

注4：TOEFL等成績証明書とは、以下のものを指します。

- ・TOEFL-PBTの場合は、Examinee Score Report（受験者用控えスコアレポート）
- ・TOEFL-CBTの場合は、Examinee Score Report（受験者用控えスコアレポート）
- ・TOEFL-iBTの場合は、Examinee Score Report（受験者用控えスコアレポート）
- ・TOEIC L&R 公開テストの場合は、Official Score Certification（公式認定証）
- ・IELTSの場合は、Test Report Form（成績証明書）
- ・GREの場合は、Official Score Report
- ・実用英語技能検定（英検）の合格証書

(2) 提出書類その他

- ・改姓がある場合は、戸籍抄本等をつける。
- ・証明書は1年以内に発行されたもの。

(3) 入学検定料の納入方法

入学検定料	32,000円
-------	---------

入学検定料は、最寄の金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く）から本学所定の「振込用紙」に記載された指定金融機関宛に振込んでください。

なお、振込みの際に受取った「入学検定料領収書（大学提出）」を、指定の入学検定料領収書貼付台紙に貼って、他の出願書類とともに提出してください。

(注) 自動振込機（ATM）から振込みを行う場合は、氏名の前に「振込用紙」の「整理番号」を必ずご入力ください。振込みを証明できるもの（利用明細票の写し）を指定の入学検定料領収書貼付台紙に貼って提出してください。

(注) インターネットバンキングによる振込みは受付できません。

(4) 出願資格審査について

出願資格⑧に該当し出願を希望する者は、資格審査を行いますので、以下の要領により所定の日時までに審査に要する書類を提出してください。

なお、審査の結果は、審査終了後、本人宛に通知します。

審査の結果、受験資格があると認められた者は、「(3)入学検定料の納入方法」に基づき、入学検定料を指定された日時までに納入し、その「入学検定料領収書（大学提出）」を指定の入学検定料領収書貼付台紙に貼って、大学院事務課へ提出してください。納入期間等の詳細は、審査結果と共に通知します。

◇ 提出期間等

令和5年12月4日（月）～12月6日（水）

◇ 受付時間

午前10時～午後4時（正午～午後1時を除く）

◇ 受付場所・問合せ先

福岡市城南区七隈八丁目19番1号（〒814-0180）
 福岡大学大学院事務課 福岡大学中央図書館6階
 TEL 代表（092）871-6631 内線2913～2916

※ 郵送の場合は、書留郵便とし受付最終日までに必着のこと。

封筒の表には、「経済学研究科出願書類在中」と朱書きしてください。

◇ 提出書類

【重要】 出願の前までに、指導教員として希望する教員に連絡をとることを義務付けています。

メールに、出願者の情報と指導を希望する教員名を書いて送信してください。

連絡先メールアドレス： gakuin@adm.fukuoka-u.ac.jp

出願資格⑧による志願者	
◇出願資格⑧の条件	大学，短期大学，高等専門学校，専修学校，各種学校の卒業生，その他の教育施設の修了者であること
《一般入学試験・社会人入学試験》	
①	修士の学位を有する者と同等以上の学力があると証明する資料がある場合は，その写し（英検，TOEFL [®] ，TOEIC ^{®*} ，報告書，著書，論文等）
②	志願票（本学所定用紙），副票・受験票（本学所定用紙） ※「志願票」裏面の履歴書の職歴は，詳しく記入してください。業績がある者は，記入してください。（業績とは，著書・研究論文・学会発表・特許，専門性に係る資格，実務経験等です。資格保有者は，その写しを添付してください。）
③	最終卒業又は修了学校の成績証明書
④	最終卒業又は修了学校の卒業証明書
⑤	修士論文に代わるもの【研究論文，研究計画書（本学所定用紙）等】。
⑥	研究計画書（本学所定用紙）
⑦	志望理由書（本学所定用紙）
⑧	英語能力を証明する書類 ^{注1, 注2} ※ TOEFL-PBT, TOEFL-CBT, TOEFL-iBT, TOEIC L&R 公開テスト, IELTS (Academic Module), GRE, 実用英語技能検定（英検）のスコア証明書のいずれかの原本（コピー不可）を提出してください。 ※ 福岡大学において実施されたTOEIC L&R -IPテストの結果は有効と認めます。
⑨	住所シート（本学所定用紙）
注1：英語の学力検査は，TOEFL [®] ，TOEIC [®] ，IELTS，GRE，実用英語技能検定（英検）の成績を利用します。	
注2：TOEFL等成績証明書とは，以下のものを指します。 ・TOEFL-PBT の場合は，Examinee Score Report（受験者用控えスコアレポート） ・TOEFL-CBT の場合は，Examinee Score Report（受験者用控えスコアレポート） ・TOEFL-iBT の場合は，Examinee Score Report（受験者用控えスコアレポート） ・TOEIC L&R 公開テストの場合は，Official Score Certification（公式認定証） ・IELTS の場合は，Test Report Form（成績証明書） ・GRE の場合は，Official Score Report ・実用英語技能検定（英検）の合格証書	

※ TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS).
This (publication/ product/ website) is not endorsed or approved by ETS.

(5) 出願上の注意

- ① 該当する出願資格に記載された条件の内容を必ず確認してください。
- ② 出願書類に不備がある場合は受理しないことがあります。
- ③ 志願票及び副票・受験票の「志望専修科目」欄は，27頁～28頁の「1 募集専修科目と担当者及び研究内容の概要」から専修科目1科目を選定し，科目名及び担当者を記入してください。
- ④ 受験科目等の記入漏れがないように注意してください。
- ⑤ 一度払い込まれた入学検定料及び提出した書類（論文含む）の返還請求には応じません。
- ⑥ 健康の状況について
疾病・障がい等により，受験時および修学上配慮を必要とされる方は，出願前のできるだけ早い時期に大学院事務課へ相談ください。（症状についての具体的内容が記載された診断書を添えてください。障害者手帳をお持ちの方は，そのコピーも添えてください。）

6 受 験 票

- ※ 出願手続完了者には、「受験票」を送付します。
- ※ 試験日の5日前までに到着しない場合は、大学院事務課へ連絡してください。
- ※ 「受験票」は入学手続完了まで保管してください。

7 試験場・試験会場

福岡市城南区七隈八丁目19番1号 福岡大学

- ※ 試験会場については、試験日当日の午前8時30分に中央図書館西側1階入口（大学院エントランス）に掲示します。
- ※ 受験者は、全員午前9時までに試験会場に集合してください。

8 試験科目・試験時間

試験時間	《一般入学試験》	《社会人入学試験》
9:00 }	受験上の注意	受験上の注意
9:15 } 10:45	志望専修科目に関する専門科目 ※ 27頁～28頁を参照	志望専修科目に関する専門科目 ※ 27頁～28頁を参照
13:00 }	面接 (口頭試問)	面接 (口頭試問)

注1：外国語科目「英語」の学力検査は、TOEFL/TOEIC/IELTS/GRE/英語検定試験のスコアを利用し、筆記試験は行いません。

注2：専門科目の筆記試験については、日本語を受講言語として選択した場合は日本語で、英語を受講言語として選択した場合は英語で出題します。

9 合 格 発 表

① 合格発表日時

春季入学試験 合格発表	令和6年3月4日(月) 午前10時
-------------	-------------------

- ② 合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には入学手続書類を郵送（簡易書留郵便）します。不合格者への通知はいたしません。

◇掲示場所：大学院事務課前

- ③ 福岡大学公式ホームページ内の「大学院個別サイト」(<https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載いたします。
- ④ 可否に関する電話での問合せには一切応じません。
- ⑤ 出願書類及び入学手続書類等に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

10 入 学 手 続

※ 入学手続書類等の詳細な指示は、合格通知とともに通知します。

※ 入学申込金・授業料その他諸納入金の納入については、「(1) 入学に要する経費等」の学費等納入金表を参照してください。

(1) 入学に要する経費等 (博士課程後期)

学 費 等 納 入 金 表

(単位：円)

区 分		本学学部 卒業	本学大学院 修了	他大学卒業・ 他大学院修了	備 考	
入学時 納入金	入学申込金(入学金)	100,000	0	100,000	入学年度のみ納入	
	第一期分 学費等納入金	第一期分授業料	200,000	200,000	200,000	毎年度納入
		第一期分教育充実費	60,000	60,000	60,000	
		委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
		(小計)	263,000	263,000	278,100	
計	363,000	263,000	378,100			
第二期 払込分	第二期分 学費等納入金	第二期分授業料	200,000	200,000	毎年度納入	
		第二期分教育充実費	60,000	60,000		60,000
	計	260,000	260,000	260,000		
初年度納入金 合計		623,000	523,000	638,100		

◆上記合計金額のうち、「入学申込金」及び「第一期分学費等納入金」として、下記の金額を所定の期日までに納入してください。(納入期限当日の収納日付印まで有効)

費 目	本学学部 卒業	本学大学院 修了	他大学卒業・ 他大学院修了	納 入 期 限
入 学 申 込 金	100,000	0	100,000	令和6年3月13日(水)
第一期分学費等納入金	263,000	263,000	278,100	令和6年3月21日(木)

※納入期限後はいかなる理由があっても受け付けできません。

※所定の期限までにこれらの手続きを完了してください。

※二年次以降の学費等納入金のうち、「委託徴収金」の金額には多少の変動が生じることがあります。

(2) 入学辞退について

① 合格発表後に入学を辞退する場合は『入学辞退届』を提出してください。

② 入学手続き終了後に入学を辞退する場合は『入学辞退届』を提出した方に限り、入学申込金(入学金)を除く第一期分学費等納入金を返還いたします。

11 そ の 他

◇ 既修得単位認定制度・奨学金制度

9頁の「11 その他 ◇既修得単位認定制度・奨学金制度」の項を参照してください。

博 士 課 程 後 期

募集専修科目・担当者及び概要等

博士課程後期

1 募集専修科目と担当者及び研究内容の概要

	専修科目	科目名	単位	担当者	研究内容
研究指導科目	経済学史	経済学史特別研究 A B C D E F	各4	教授 博士(経済学) 山崎好裕	経済学史の論文には、理論の発展史についての広く深い知識と過去の論文への詳細な読解、洞察力が必要になります。自分の研究分野に関して、原典や多くの論文を読んでもらい、博士論文に向けた研究を進めていきます。また、学説史研究を通して得た理論への知識を現実の経済分析に応用するために、計量分析の実際についても学んで、データを使った分析を行っていただきます。英語論文の作成やジャーナルへの投稿についても指導します。
	社会経済学	社会経済学特別研究 A B C D E F	各4	教授 姜文源	この講義では毎年1本の論文を書くことを目標とする。論文の研究課題は受講生が決めることを原則とする。行動経済学、ニューローエコノミクス、さらには学際的研究のブームによって社会経済学の内容やアプローチも急激に変化している。が、この講義では限定合理性を前提とした効率モデルの枠のなかで受講生の研究課題を取り上げていき、論文を完成させることを目標としている。即ち、講義での研究は心理学、社会学、人類学で進められている最新の研究課題をどのようにして経済学の限定合理性モデルの枠のなかで再定義でき、このような方法論的転換を通じて、どのような新しい社会経済理解および展望が得られるか、に関するものとなる。受講生の研究に関しては、講義を通じて書いた論文を学術ジャーナルに発表することはもちろん、研究で得られた結果が社会や人類に貢献できる内容であることが要求される。
	経済数学	経済数学特別研究 A B C D E F	各4	教授 Ph.D. 藤本浩明	経済数学は、経済学の一分野ではない。慎重に単純化したモデルを用いて、複雑な経済現象の因果関係を分析し、その中に潜む法則を見出すための科学的方法のひとつである。ここで、科学的とは、広辞苑によると、体系的であり、経験的に実証可能な知識のことを言う。もちろん、経済モデルが数学的である必要はないが、数学的であれば、モデルは変数とパラメータからなる方程式で表現されるため、適切な計算をするだけで、科学的な結論を得ることができる。そこで、本特別研究では、例えば、ホッグ著「数理統計学導論(第5版)」高等教育出版の教科書などを通じて、ベイズ統計学を修得するとともに、公平な税制ならびに所得格差の不平等尺度およびリスク管理に応用することを考える。
	都市モデル解析	都市モデル解析特別研究 A B C D E F	各4	教授 博士(工学) 李明哲	本特別研究では、幅広い社会・経済問題のなかの一つの課題に焦点をあて、応用数理やオペレーションズ・リサーチの視点から行う、モデル構築の手法とモデル解析の手法を適用して、特定された課題を理論的に解析し、その本質を探るとともに、効率化という視点から、捉えた問題の改善あるいは解決を図ります。最後は、それをもとに博士論文を仕上げていきます。
	ゲーム理論	ゲーム理論特別研究 A B C D E F	各4	教授 博士(経済学) 西原宏	この講義では、非協力ゲーム理論の基礎または経済学への応用の中から研究テーマを選び、理論研究の範囲内で研究活動を行います。ゲーム理論の基礎的な知識や解析方法は、すでに修得してあることを前提とします。テーマの決定後は、文献の精読、問題の発見、モデルの構築と改良、解析、結果の吟味という流れで研究活動を行います。ある程度の結果が得られた後は、学会発表を積極的に利用して論文としての完成度を高めて行きます。
	都市システム解析	都市システム解析特別研究 A B C D E F	各4	教授 博士(経済学) 梶井昌邦	本講義では、(1)地域や都市に関するデータを解析するための統計モデリングやデータマイニング手法の開発を行い、(2)開発した統計モデルや手法を実際のデータへ適用し、一般法則を見だし、積み上げていくとともに、(3)それらにもとづき政策や戦略を議論する、といった形で研究指導を行っていく。受講生は、このような「根拠(エビデンス)にもとづく政策科学研究」から各自、具体的な研究課題を設け、学会発表や学術雑誌への投稿を積極的に行いながら学位論文を作成する。

専修科目	科目名	単位	担当者	研究内容
研究指導科目	米中日経済分析	各4	教授 博士(経済学) 万 軍 民	<p>今日世界における経済問題、特にアメリカ、中国、日本における経済問題に焦点を当てて研究する。具体的には以下の角度からアプローチする。</p> <p>1) 家計行動の理論および実証分析を行う。たとえば、消費貯蓄、教育と人的資本蓄積、労働供給などが考えられる。</p> <p>2) 企業行動の理論および実証分析を行なう。例えば、企業の投資行動、融資行動、ガバナンスと内部昇進、雇用、産業組織などが考えられる。</p> <p>3) 政府の理論と実証分析を行なう。例えば、効率かつ公平な徴税、脱税問題、公的支出のあり方、公共財の最適供給、所得再分配などが考えられる。</p> <p>4) 金融の理論および実証分析を行なう。例えば、バブルの生成と予防、バブルのハードとソフトランディング、銀行預金と貸出、株式市場、公債市場、為替レートの決定要因などが考えられる。</p> <p>受講生は上記の内容から1つを選び、査読付国際誌への公刊を目指して、学術論文を作成する。研究手法は純粋な数理モデルに基づいてもいいし、経済データを用いて計量分析してもよい。また、ジョブマーケットに出るための関連準備をする。</p> <p>研究内容の詳細については指導教員の公式WEBを参考されたい。 http://www.econ.fukuoka-u.ac.jp/~wan/</p>
	社会的選択理論	各4	教授 博士(経済学) 佐 藤 伸	<p>本特別研究では、社会的選択理論とそれに関連するメカニズムデザインやマーケットデザインといった分野における最近の論文を読みながら自らの問題意識・研究テーマを明確にし、理論分析を通して新しい結果を得、それを英語の論文としてまとめることを目標とします。社会的選択理論とその関連分野においては、複数の選好を何らかの方法で集約する際の望ましい方法の設計可能性、あるいは実際に良く知られている方法の性質を調べます。社会的選択理論等に関する予備知識は特に必要ありませんが、英語の読み書きが自由にできることと、数学的(論理的)思考力を備えていることは前提とします。</p>
	応用マクロ経済学 〔当該年度は募集しない〕	応用マクロ経済学特別研究 A B C D E F	各4	教授 Ph.D. 高 瀬 光 夫

2 その他の科目

専修科目	科目名
社会学	社会学特別研究 A B C D E F
オペレーションズ・リサーチ	オペレーションズ・リサーチ特別研究 A B C D E F
経済時系列分析	経済時系列分析特別研究 A B C D E F

科目名		単位	科目名		単位
経済学特別講義	A	2	経済学特別講義	H	2
経済学特別講義	B	2	経済学特別講義	I	2
経済学特別講義	C	2	経済学特別講義	J	2
経済学特別講義	D	2	経済学特別講義	K	2
経済学特別講義	E	2	経済学特別講義	M	2
経済学特別講義	F	2	経済学特別講義	N	2
経済学特別講義	G	2			

3 履修方法

- 1 学習の標準修業年限は3年とし、次の定める方法により、履修しなければならない。ただし、優れた研究業績をあげた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。
- 2 学生は、一つの専修部門を選定し、この研究指導科目を専修科目として、24単位を修得しなければならない。
- 3 専修部門の研究指導担当者を当該学生の指導教員とし、学位論文の作成、その他研究一般について、その指導に従うものとする。
- 4 学生は、専修科目のほか、特修科目のうちから2科目4単位以上を修得しなければならない。
- 5 指導教員が、当該学生の研究上特に必要と認めた場合には、次のとおりとする。
 - (1) 学生は、選定した専修部門以外の研究指導科目を履修することができる。ただし、この修得単位は、修了要件単位数に参入しない。
 - (2) 学生は、博士課程前期における主要科目（講義）及び特修科目を受講することができる。
- 6 博士の学位論文は、専修科目について提出するものとする。

外国人留学生入学試験
《博士課程前期・博士課程後期》

外国人留学生進学説明会

詳細が決まりましたら、福岡大学公式ホームページ内の「大学院個別サイト」
(<https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp/>)へ掲載します。

外国人留学生入学試験 《博士課程前期・博士課程後期》

- ◇国内志願者とは、既に日本国に在留している志願者をいいます。
- ◇国外志願者とは、受験のために外国から日本国に来る志願者をいいます。

1 募 集 人 員

博士課程前期については2頁、博士課程後期については20頁を参照してください。

2 出 願 資 格

博士課程前期 《外国人留学生入学試験》	博士課程後期 《外国人留学生入学試験》
<p>次の①～⑧のいずれかの条件に該当する者で、※印の要件を充たす者</p> <p>①学校教育法第83条の日本の大学を卒業した者及び令和6年3月までに卒業見込みの者</p> <p>②外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者</p> <p>③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者</p> <p>④我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者</p> <p>⑤外国の大学その他の外国の学校^{*1)}において、修業年限が3年以上である課程を修了すること^{*2)}により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者</p> <p>*1) その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。</p> <p>*2) 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。</p> <p>⑥専修学校の専門課程(修業年限4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者</p>	<p>次の①～⑦のいずれかの条件に該当する者で、※印の要件を充たす者</p> <p>①日本の大学院において、修士の学位を授与された者又は学校教育法第104条第1項に規定する専門職大学院の課程を修了し文部科学大臣の定める学位を有する者及び令和6年3月までに取得見込みの者</p> <p>②外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者</p> <p>③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者</p> <p>④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者</p> <p>⑤国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者</p> <p>⑥外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者</p> <p>⑦本学の大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達したものと及び令和6年3月までに達するもの^{※注)}</p>

<p>⑦学校教育法第102条第2項の規定(飛び級入学)により日本の大学院に入学した者であって、本学の大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの^{※注)}</p> <p>⑧本学の大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの及び令和6年3月までに達するもの^{※注)}</p> <p>※ 在学中の経費支弁能力がある者 ※ 日本語で講義・研究指導を受ける者は、指定された日本語能力がある者</p>	<p>※ 在学中の経費支弁能力がある者 ※ 日本語で講義・研究指導を受ける者は、指定された日本語能力がある者</p>
<p>※注) <u>出願資格⑦・⑧に該当し出願を希望する者は、資格審査を行います。</u></p>	<p>※注) <u>出願資格⑦に該当し出願を希望する者は、資格審査を行います。</u></p>

3 入学試験日・願書(第1次選考書類)受付期間

※注) 身体に疾病または障がいがあり、受験時および就学の際に特別な配慮が必要な方は、出願前に大学院事務課へお問い合わせください。

募集区分			試験日	願書受付期間
季別	課程	対象者		
秋季	博士課程前期	国内志願者	令和5年9月11日(月)	令和5年7月10日(月) ～7月12日(水)
春季	博士課程前期	国外志願者	令和6年2月13日(火)	随時受付 <最終締切日> 令和5年10月31日(火)
	及び 博士課程後期	国内志願者		令和5年12月4日(月) ～12月6日(水)

4 願書(第1次選考書類)受付

◇ 受付時間

午前10時～午後4時(正午～午後1時を除く)

◇ 受付場所・問合せ先

福岡市城南区七隈八丁目19番1号(〒814-0180)

福岡大学大学院事務課 福岡大学中央図書館6階

TEL 代表(092)871-6631 内線2913～2916

※ 郵送の場合は、書留郵便とし受付最終日までに必着とします。

封筒の表には、「経済学研究科出願書類在中」と朱書きしてください。

5 出願手続

(1) 提出書類(※国外志願者は出願手続が異なります。大学院事務課にお問い合わせください。)

以下の事項に注意し、必要書類を提出してください。

* 提出書類は、出願資格により異なります。該当する提出書類一覧の「博士課程前期」・「博士課程後期」それぞれの欄で、○印の付いた書類はすべて提出してください。

* 出願資格によっては、提出書類以外の書類提出をお願いすることがあります。

* 本人が記入する書類は、特に指定のない限りすべて日本語で記入してください。

* 提出書類は、写しを許可されたもの以外、すべて本書を提出してください。(コピーは受付けません。)写しを要するものは、受付時に大学院事務課で写しをとり、本書は返却いたします。

* 証明書は、全て発行日から3ヵ月以内のものを提出してください。

【重要】出願の前までに、指導教員として希望する教員に連絡をとることを義務付けています。

メールに、出願者の情報と指導を希望する教員名を書いて送信してください。

連絡先メールアドレス：gakuin@adm.fukuoka-u.ac.jp

出願資格：博士課程前期①～⑥及び博士課程後期①～⑥による志願者《国内志願者》		
提出書類	博士課程前期	博士課程後期
1. 志願票〔外国人留学生用〕・受験票・副票(本学所定用紙)	○	○
2. 成績証明書 ・博士課程前期志願者は、出身大学等の成績証明書 ・博士課程後期志願者は、出身大学および大学院の成績証明書 ※ 詳細は、p.37で確認してください。	○	○
3. 卒業・修了に関する証明 ・博士課程前期志願者は、出身大学等の卒業証明書(卒業証書でも可)又は卒業見込証明書 ・博士課程後期志願者は、出身大学院の修了証明書(修了証書でも可)又は修了見込証明書 ※ 詳細は、p.37で確認してください。	○	○
4. 修士論文の内容の要旨 ※ 日本語で記述(英語で受講を希望する者は英語での記述可)してください。		○
5. 研究計画書(本学所定用紙) ※ 日本語で記述(英語で受講を希望する者は英語での記述可)してください。	○	○
6. 志望理由書(本学所定用紙) ※ 日本語で記述(英語で受講を希望する者は英語での記述可)してください。	○	○
7. 英語能力を証明する書類 ^{注1, 注2} ※ TOEFL-PBT, TOEFL-CBT, TOEFL-iBT, TOEIC L&R 公開テスト, IELTS (Academic Module), GRE, 実用英語技能検定(英検)のスコア証明書のいずれかの原本(コピー不可)を提出してください。 ※ 福岡大学において実施された TOEIC L&R -IP テストの結果は有効と認めます。	○	○
8. ERE ミクロ・マクロ成績証明書 ^{注3} ※ 専門科目の学力検査に ERE ミクロ・マクロの成績利用を選択する場合のみ提出してください。	該当者のみ	
9. 日本語能力証明(受講言語として英語を選択する場合は不要) 次の①～⑤で該当するいずれか1つを提出してください。 ① (財)日本国際教育支援協会又は国際交流基金が実施する「日本語能力試験」N1 または N2 (2009 年以前の受験生は、1 級または 2 級)の合格認定書 ② 日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」の成績通知書 ※ ただし、過去2年間に於いて実施された試験のいずれかにおいて、聴解・聴読解・読解の合計が200点以上の成績を得ていること。 ③ 日本の大学を卒業(卒業見込)又は日本の大学院を修了(修了見込)の者で、上記①又は②の書類提出が不可能な場合は、「日本語能力認定書」(本学所定用紙) ^{※注)} ④ 文部科学省の大学推薦及び大使館推薦による国費外国人留学生で、上記①または②の書類提出が不可能な場合は、「日本語能力認定書」(本学所定用紙) ^{※注)} ⑤ 博士課程後期の志願者で、上記①または②の書類提出が不可能な場合は、「日本語能力認定書」(本学所定用紙) ^{※注)} ※注) ③～⑤の「日本語能力認定書」は日本語講師、日本政府の在外公館員、その他適当と思われる者に記入を依頼してください。	○	○
10. 経費支弁計画書(本学所定用紙)	○	○
11. 1年分の学費・生活費の支払能力があることを証明する書類 (「経費支弁計画書」の収入を立証する書類) 次の①・②(全員提出)と③～⑥で該当するものを提出してください。 ① 志願者名義の預金残高証明書(日本円又はUSドルによるもの) ② 当該預金の過去1年間の入出金の経緯が明らかになる預金通帳等の現物 ※ 提出不可能な場合は、その理由書を添付してください。(A4 サイズ 書式は自由) ※ 郵送の場合は、必要な部分の全てのページの写し ③ 「資格外活動許可書」を取得している者はその写し ④ 入学年4月以降に奨学金受給が決定している者は奨学金受給者証明書 ⑤ 外国(本国の親族等)からの送金を受ける場合は、送金者本人が自筆により作成した経費支弁書(本学所定用紙) ^{※注)} ⑥ 在日する親族等からの送金を受ける場合は、送金者本人が自筆により作成した経費支弁書(本学所定用紙) ^{※注)} ※ 印鑑は実印を使用してください。 ※注) ⑤・⑥の「経費支弁書」が母国語で作成されている場合は、和文又は英文の翻訳文を添付してください。	○	○

12. 住民票（マイナンバーの記載がないもの） ※ 市町村区役所が発行するもので、在留カードNo.（又は外国人登録番号）・在留資格・在留期限が明記されたもの	○	○
13. パスポート（大学院事務課で写しをとりますので、原本を持参願います。） ※郵送の場合は、氏名・国籍・パスポート番号・顔写真が記載されているページの写し	○	○
14. 日本国内の大学で研究歴がある者は、その証明書	該当者のみ	
15. 住所シート（本学所定用紙）	○	○
16. 提出書類チェックリストA（本学所定用紙）	○	○
<p>注1：英語の学力検査は、TOEFL[®]、TOEIC[®]、IELTS、GRE、実用英語技能検定（英検）の成績を利用します。</p> <p>注2：TOEFL等成績証明書とは、以下のものを指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOEFL-PBTの場合は、Examinee Score Report（受験者用控えスコアレポート） TOEFL-CBTの場合は、Examinee Score Report（受験者用控えスコアレポート） TOEFL-iBTの場合は、Examinee Score Report（受験者用控えスコアレポート） ・TOEIC L&R 公開テストの場合は、Official Score Certification（公式認定証） ・IELTSの場合は、Test Report Form（成績証明書） ・GREの場合は、Official Score Report ・実用英語技能検定（英検）の合格証書 <p>注3：専門科目の学力検査は次のようになります。</p> <p>①博士課程前期のうち日本語で受講を希望する者は、ERE ミクロ・マクロの成績利用又は日本語での筆記試験となります。事前に指導を希望する教員と相談し、どちらを選択するか決めてください。</p> <p>②英語で受講を希望する者は、英語での筆記試験となります。</p>		

出願資格：博士課程前期⑦による志願者《国内志願者》	
◇博士課程前期：出願資格⑦の条件 日本の大学から日本の大学院へ飛び級入学した者であること。	
提出書類	博士課程前期
1. 志願票《外国人留学生用》・受験票・副票（本学所定用紙）	○
2. 出身大学の成績証明書	○
3. 在籍期間及び退学年月日が記載された出身大学の証明書	○
4. 入学年月日が記載された出身大学院の証明書	○
5. 研究計画書（本学所定用紙） ※ 日本語で記述（英語で受講を希望する者は英語での記述可）してください。	○
6. 志望理由書（本学所定用紙） ※ 日本語で記述（英語で受講を希望する者は英語での記述可）してください。	○
7. 英語能力を証明する書類 ^{注1、注2} ※ TOEFL-PBT、TOEFL-CBT、TOEFL-iBT、TOEIC L&R 公開テスト、IELTS（Academic Module）、GRE、実用英語技能検定（英検）のスコア証明書のいずれかの原本（コピー不可）を提出してください。 ※ 福岡大学において実施された TOEIC L&R -IP テストの結果は有効と認めます。	○
8. ERE ミクロ・マクロ成績証明書 ^{注3} ※ 専門科目の学力検査に ERE ミクロ・マクロの成績利用を選択する場合のみ提出してください。	該当者のみ
9. 日本語能力証明（受講言語として英語を選択する場合は不要） 次の①～③で該当するいずれか1つを提出してください。 ①（財）日本国際教育支援協会又は国際交流基金が実施する「日本語能力試験」N1 または N2（2009年以前の受験生は、1級または2級）の合格認定書 ② 日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」の成績通知書 ※ ただし、過去2年間に於いて実施された試験のいずれかにおいて、聴解・聴読解・読解の合計が200点以上の成績を得ていること。 ③ 上記①又は②の書類提出が不可能な場合は、「日本語能力認定書」（本学所定用紙） ^{※注} ※ 「日本語能力認定書」は日本語講師、日本政府の在外公館員、その他適当と思われる者に記入を依頼してください。	○
10. 経費支弁計画書（本学所定用紙）	○

11. 1年分の学費・生活費の支払能力があることを証明する書類 (「経費支弁計画書」の収入を立証する書類) 次の①・②(全員提出)と③～⑥で該当するものを提出してください。 ① 志願者名義の預金残高証明書(日本円又はUSドルによるもの) ② 当該預金の過去1年間の入出金の経緯が明らかになる預金通帳等の現物 ※ 提出不可能な場合は、その理由書を添付してください。(A4サイズ 書式は自由) ※ 郵送の場合は、必要な部分の全てのページの写し ③ 「資格外活動許可書」を取得している者はその写し ④ 入学年4月以降に奨学金受給が決定している者は奨学金受給者証明書 ⑤ 外国(本国の親族等)からの送金を受ける場合は、送金者本人が自筆により作成した経費支弁書(本学所定用紙) ^{※注} ⑥ 在日する親族等からの送金を受ける場合は、送金者本人が自筆により作成した経費支弁書(本学所定用紙) ^{※注} ※ 印鑑は実印を使用してください。 ※注) ⑤・⑥の「経費支弁書」が母国語で作成されている場合は、和文又は英文の翻訳文を添付してください。	○
12. 住民票(マイナンバーの記載がないもの) ※ 市町村区役所が発行するもので、在留カードNo.(又は外国人登録番号)・在留資格・在留期限が明記されたもの	○
13. パスポート(大学院事務課で写しをとりますので、原本を持参願います。) ※ 郵送の場合は、氏名・国籍・パスポート番号・顔写真が記載されているページの写し	○
14. 日本国内の大学で研究歴がある者は、その証明書	該当者のみ
15. 住所シート(本学所定用紙)	○
16. 提出書類チェックリストB(本学所定用紙)	○
注1: 英語の学力検査は、TOEFL [®] 、TOEIC [®] 、IELTS、GRE、実用英語技能検定(英検)の成績を利用します。 注2: TOEFL等成績証明書とは、以下のものを指します。 ・TOEFL-PBTの場合は、Examinee Score Report(受験者用控えスコアレポート) TOEFL-CBTの場合は、Examinee Score Report(受験者用控えスコアレポート) TOEFL-iBTの場合は、Examinee Score Report(受験者用控えスコアレポート) ・TOEIC L&R公開テストの場合は、Official Score Certification(公式認定証) ・IELTSの場合は、Test Report Form(成績証明書) ・GREの場合は、Official Score Report ・実用英語技能検定(英検)の合格証書 注3: 専門科目の学力検査は次のようになります。 ①日本語で受講を希望する者は、EREミクロ・マクロの成績利用又は日本語での筆記試験となります。事前に指導を希望する教員と相談し、どちらを選択するか決めてください。 ②英語で受講を希望する者は、英語での筆記試験となります。	

出願資格：博士課程前期⑧及び博士課程後期⑦による志願者 《国内志願者》			
◇出願資格：博士課程前期⑧及び博士課程後期⑦の条件 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生、その他の教育施設の修了者であること。 (博士課程後期志願者には、大学卒業者を含む。)			
提出書類	博士課程前期	博士課程後期	
1. 大学を卒業した者と同等以上の学力があると証明する資料がある場合は、その写し。(英検、TOEFL [®] 、TOEIC [®] 、報告書、著書、論文等)	○	○	
2. 志願票「外国人留学生用」・副票・受験票(本学所定用紙) ※ 「志願票」裏面について ・職歴または研究歴がある者は記入してください。 ・業績(著書・研究論文・学会発表・特許)がある者は「資格・賞罰等」の欄に記入してください。なお、審査の結果、受験資格があると認められた場合は、業績(現物)を提出してください。 ・専門性に係る資格及び実務経験がある者は「資格・賞罰等」の欄に記入してください。(資格保有者は、その証明書の写しを添付してください)	○	○	
3. 最終卒業又は修了学校の成績証明書 ※ 博士課程前期志願者は、出身大学等の成績証明書 ※ 博士課程後期志願者は、出身大学および大学院の成績証明書 ※ 詳細は、p.37で確認してください。	○	○	
4. 最終卒業又は修了学校の卒業証明書 ※ 博士課程前期志願者は、出身大学等の卒業証明書(卒業証書でも可)又は卒業見込証明書 ※ 博士課程後期志願者は、出身大学院の修了証明書(修了証書でも可)又は修了見込証明書 ※ 詳細は、p.37で確認してください。	○	○	
5. 研究計画書(本学所定用紙) ※ 日本語で記述(英語で受講を希望する者は英語での記述可)してください。	○	○	

6. 志望理由書（本学所定用紙） ※ 日本語で記述（英語で受講を希望する者は英語での記述可）してください。	○	○
7. 英語能力を証明する書類 ^{注1, 注2} ※ TOEFL-PBT, TOEFL-CBT, TOEFL-iBT, TOEIC L&R 公開テスト, IELTS (Academic Module), GRE, 実用英語技能検定（英検）のスコア証明書のいずれかの原本（コピー不可）を提出してください。 ※ 福岡大学において実施された TOEIC L&R -IP テストの結果は有効と認めます。	○	○
8. ERE ミクロ・マクロ成績証明書 ^{注3} ※ 専門科目の学力検査に ERE ミクロ・マクロの成績利用を選択する場合のみ提出してください。	該当者のみ	
9. 日本語能力証明（受講言語として英語を選択する場合は不要） 次の①～⑤で該当するいずれか1つを提出してください。 ①（財）日本国際教育支援協会又は国際交流基金が実施する「日本語能力試験」N1 または N2（2009 年以前の受験生は、1 級または 2 級）の合格認定書 ② 日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」の成績通知書 ※ ただし、過去 2 年間に於いて実施された試験のいずれかにおいて、聴解・聴読解・読解の合計が 200 点以上の成績を得ていること。 ③ 日本の大学を卒業（卒業見込）又は日本の大学院を修了（修了見込）の者で、上記①又は②の書類提出が不可能な場合は、「日本語能力認定書」（本学所定用紙） ^{※注} ④ 文部科学省の大学推薦及び大使館推薦による国費外国人留学生で、上記①または②の書類提出が不可能な場合は、「日本語能力認定書」（本学所定用紙） ^{※注} ⑤ 博士課程後期の志願者で、上記①または②の書類提出が不可能な場合は、「日本語能力認定書」（本学所定用紙） ^{※注} ※注）③～⑤の「日本語能力認定書」は日本語講師、日本政府の在外公館員、その他適当と思われる者に記入を依頼してください。	○	○
10. 経費支弁計画書（本学所定用紙）	○	○
11. 1 年分の学費・生活費の支払能力があることを証明する書類 （「経費支弁計画書」の収入を立証する書類） 次の①・②（全員提出）と③～⑥で該当するものを提出してください。 ① 志願者名義の預金残高証明書（日本円又はUSドルによるもの） ② 当該預金の過去1年間の入出金の経緯が明らかになる預金通帳等の現物 ※ 提出不可能な場合は、その理由書を添付してください。（A4 サイズ 書式は自由） ※ 郵送の場合は、必要な部分の全てのページの写し ③ 「資格外活動許可書」を取得している者はその写し ④ 入学年 4 月以降に奨学金受給が決定している者は奨学金受給者証明書 ⑤ 外国（本国の親族等）からの送金を受ける場合は、送金者本人が自筆により作成した経費支弁書（本学所定用紙） ^{※注} ⑥ 在日する親族等からの送金を受ける場合は、送金者本人が自筆により作成した経費支弁書（本学所定用紙） ^{※注} ※ 印鑑は実印を使用してください。 ※注）⑤・⑥の「経費支弁書」が母国語で作成されている場合は、和文又は英文の翻訳文を添付してください。	○	○
12. 住民票（マイナンバーの記載がないもの） ※ 市町村区役所が発行するもので、在留カードNo.（又は外国人登録番号）・在留資格・在留期限が明記されたもの	○	○
13. パスポート（大学院事務課で写しをとりますので、原本を持参願います。） ※ 郵送の場合は、氏名・国籍・パスポート番号・顔写真が記載されているページの写し	○	○
14. 日本国内の大学で研究歴がある者は、その証明書	該当者のみ	
15. 住所シート（本学所定用紙）	○	○
16. 提出書類チェックリスト C（本学所定用紙）	○	○
注 1：英語の学力検査は、TOEFL [®] , TOEIC [®] , IELTS, GRE, 実用英語技能検定（英検）の成績を利用します。 注 2：TOEFL 等成績証明書とは、以下のものを指します。 ・ TOEFL-PBT の場合は、Examinee Score Report（受験者用控えスコアレポート） TOEFL-CBT の場合は、Examinee Score Report（受験者用控えスコアレポート） TOEFL-iBT の場合は、Examinee Score Report（受験者用控えスコアレポート） ・ TOEIC L&R 公開テストの場合は、Official Score Certification（公式認定証） ・ IELTS の場合は、Test Report Form（成績証明書） ・ GRE の場合は、Official Score Report ・ 実用英語技能検定（英検）の合格証書 注 3：専門科目の学力検査は次のようになります。 ①博士課程前期のうち日本語で受講を希望する者は、ERE ミクロ・マクロの成績利用又は日本語での筆記試験となります。事前に指導を希望する教員と相談し、どちらを選択するか決めてください。 ②英語で受講を希望する者は、英語での筆記試験となります。		

※ TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS).
This publication is not endorsed or approved by ETS.

(2) 外国人留学生 卒業/修了（見込）証明書、成績証明書、学位取得証明書について

- ・全ての証明書は、日本語又は英語で作成された原本であること。日本語・英語以外の言語で作成されたものは、日本語または英語の翻訳文を原本のコピーに添付して提出すること。
- ・卒業・修了に関する証明書に学位に係る記載がない場合は、学位の取得又は取得見込みを立証する書類の原本を提出すること。
- ・提出された証明書の原本は返却しません。
※原本を提出できない場合は、Certified true copy（証書の原本から正しく複製されたものであることを証明した公証書）を提出すること。

〈中国の教育機関出身の志願者へ〉

中国の教育機関出身者は、下記の認証機関において認証した「中国語版電子報告書」（学位・学歴・成績）を提出してください。

【学位取得証明書】

学位（学士号）の「認証報告」（中国語版電子報告書）

『中国高等教育学生信息网（CHSI）』（<https://www.chsi.com.cn>）が認証したもの

中国高等教育学歴認証報告（中国語版電子報告書）

『中国高等教育学生信息网（CHSI）』（<https://www.chsi.com.cn>）が認証したもの

【成績証明書】

中国高等学校学生成績検証報告（中国語版電子報告書）

『中国高等教育学生信息网（CHSI）』（<https://www.chsi.com.cn>）が認証したもの

認証機関以外からの認証結果は一切受け取りません。志願者本人または代理人が受信した電子認証報告メールの転送は無効となります。願書受付期間の最終日（必着）までに、福岡大学大学院事務課のメールアドレス（gakuin@adm.fukuoka-u.ac.jp）に認証結果が直接送付されるように手続きを行ってください。

(3) 第1次選考(書類審査)と第2次選考検定料(入学検定料)

- ① 提出された書類について第1次選考を行い、その結果を通知します。
- ② 第1次選考の結果、受験資格があると認められた者は、所定の期日までに第2次選考検定料を納入してください。納入方法に関する詳細は、第1次選考書類の提出時に指示します。

第2次選考検定料(入学検定料)	30,000円
-----------------	---------

(4) 出願上の注意

- ① 該当する出願資格に記載された条件の内容を必ず確認してください。
- ② 出願書類に不備がある場合は受理しないことがあります。
- ③ 志願票及び副票・受験票の「志望専修科目」欄には、博士課程前期は11頁～17頁の「1 募集専修科目と担当者及び授業内容の概要」から、博士課程後期は27頁～28頁の「1 募集専修科目と担当者及び研究内容の概要」から専修科目1科目を選定し、科目名及び担当者を記入してください。
- ④ 受験科目等の記入漏れがないように注意してください。
- ⑤ 出願手続等に関する照会は、原則として志願者本人が行ってください。
- ⑥ 出願書類の提出は、受付時に確認事項があるので、特別な理由がない限り窓口を持参してください。(国外志願者以外)

なお、国外志願者については、日本国内在住の知人を通じて行ってもかまいません。

- ⑦ 一度払い込まれた第2次選考検定料(入学検定料)及び提出した書類(論文含む)の返還請求には応じません。
- ⑧ 健康の状況について

疾病・障がい等により、受験時および修学上配慮を必要とされる方は、出願前のできるだけ早い時期に大学院事務課へ相談ください。(症状についての具体的内容が記載された診断書や障害者手帳のコピーを追加で提出してください。)

6 受験票及び受験許可書

※出願手続完了者には、「受験票」を送付します。また、国外志願者には「受験許可書」^{注)}を発行し、併せて送付します。

※試験日の5日前までに到着しない場合は大学院事務課へ連絡してください。

※「受験票」は入学手続完了まで保管してください。

注) 受験許可書は、国外志願者が来日受験するために、志願者本人が本国において行なう出入国手続(受験を目的とする短期滞在ビザの取得)に便宜をはかるため発行するものです。

7 試験場・試験会場

福岡市城南区七隈八丁目19番1号 福岡大学

- ※ 試験会場については、試験日当日の午前8時30分に中央図書館西側1階入口(大学院エントランス)に掲示します。
- ※ 専門科目の学力検査に筆記試験を選択した受験生は、午前9時までに試験会場に集合してください。

8 試験科目・試験時間

試験時間	博士課程前期 《外国人留学生》	博士課程後期 《外国人留学生》
9:00)	受験上の注意	受験上の注意
9:15) 10:45	志望専修科目に関する専門科目 ^{注1, 注3, 注4} ※ 11頁～17頁を参照 ※ 専門科目の学力検査に筆記試験を 選択した場合のみ受験してください	志望専修科目に関する専門科目 ^{注1, 注3} ※ 27頁～28頁を参照
13:00)	面接 (口頭試問)	面接 (口頭試問)

- 注1：① 文部科学省の大学推薦及び大使館推薦による国費外国人留学生の志願者は、英語及び専門科目を免除します。
② ①以外の国費留学生は第1次選考の結果、試験科目を免除することがありますので、出願時にその旨申し出てください。第1次選考の結果とともに通知します。
- 注2：外国語科目「英語」の学力検査は、TOEFL/TOEIC/IELTS/GRE/英語検定試験のスコアを利用し、筆記試験は行いません。
- 注3：専門科目の筆記試験については、日本語を受講言語として選択した場合は日本語で、英語を受講言語として選択した場合は英語で出題します。
- 注4：博士課程前期を志願する者のうち、専門科目の学力検査としてEREミクロ・マクロの成績を利用する者は、面接（口頭試問）のみとなります。面接の集合場所・時間は、受験票発送時にお知らせします。

9 合格発表

① 合格発表日時

秋季入学試験 合格発表	令和5年10月2日(月)午前10時
春季入学試験 合格発表	令和6年3月4日(月)午前10時

- ② 合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には入学手続書類を郵送（簡易書留）します。不合格者への通知はいたしません。
◇掲示場所：大学院事務課前
- ③ 福岡大学公式ホームページ内の「大学院個別サイト」(<https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載いたします。
- ④ 可否に関する電話での問合せには一切応じません。
- ⑤ 出願書類及び入学手続書類等に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

10 入学手続

入学手続の詳細は、博士課程前期は8頁、博士課程後期は25頁の「10 入学手続」を参照してください。

個人情報の取扱いについて

本学では「個人情報の保護に関する法律」に基づき、「学校法人福岡大学個人情報保護規程」を定め個人情報の保護に努めています。「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に基づく、「個人番号」および「特定個人情報」に関しても同様です。本学学生の個人情報に関する基本的な姿勢と取扱いについてご説明いたします。

1. 法令の遵守と学内規程の整備

本学は、「個人情報の保護に関する法律」その他法令の規定を遵守すると共に、個人情報の取得、保管、利用など取扱いに関する必要な事項を定め、個人情報の適切な保護に努めます。

2. 個人情報の取得

本学は、本学の学生から個人情報を取得する際には、あらかじめ利用目的を特定し、その利用目的の達成に必要な範囲内において、公正な手段により取得します。また、思想、信条及び宗教に関する個人情報は取得しません。

〈主な利用目的〉

- 学生募集、入学試験に関する業務
- 履修・成績管理に関する業務
- 入学、卒業、退学、休学等の学籍管理に関する業務
- 課外活動、健康管理に関する業務
- 奨学金に関する業務
- 授業料その他納付金等の収納・督促に関する業務
- 就職・進路支援に関する業務
- 教育改善のための教学情報の活用に関する業務
- 個人番号関係業務
- 一般社団法人福岡大学同窓会有信会の運営に関する業務
- 福岡大学父母後援会の運営に関する業務
- その他学生生活、修学指導に関する業務

※詳しくは、大学ホームページに掲載している「学校法人福岡大学個人情報保護規程別表」等をご覧ください。

3. 個人情報の利用

本学が保有する個人情報は、法令に基づく場合を除き、本人の同意を得ないで、定められた利用目的以外の利用や、第三者への提供は行いません。

4. 個人情報の管理

本学は、個人情報の管理体制を整備し、個人データについては利用目的の達成に必要な範囲内において正確かつ最新の内容に保ち、漏えい、滅失又は毀損の防止など安全管理のために必要かつ適切な措置を講じます。

なお、個人情報の取扱いを外部に委託する場合は、委託先が個人情報の安全管理のために適切な措置を講じるよう監督し、その内容を委託契約に明記します。

5. 個人情報の開示等

本学は、本人からの当該保有個人データの開示、訂正（追加、削除含む）、利用停止の請求を受け付けます。

6. 個人情報に関する問合せ先

本学の個人情報に関する苦情やご質問は、個人情報の内容によって受付窓口が異なります。大学公式ホームページの個人情報関連のページをご覧ください。下記あてにお問い合わせください。

【問合せ先】 福岡大学 総務課

福岡大学大学院 長期履修制度について

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により、本来の標準修業年限（修士課程・博士課程前期＝2年、博士課程後期＝3年、博士課程＝4年）では履修が困難と認められる者について、長期履修学生として標準修業年限を超えて履修を可能とする制度です。

長期履修学生として申請するにあたっては、長期履修期間中の履修や研究方法等について、あらかじめ当該研究科・専攻（在学学生は指導教員）に相談してください。

1. 対象者

長期履修学生として申請することができる者は、次のいずれかに該当する者とします。なお、外国人留学生（在留資格「留学」を有する者）は申請できません。

(1) 新たに本学大学院に入学（進学を含む）する者のうち、次のいずれかに該当するため、標準修業年限での履修が困難な者

- ① 職業を有し、就業している者
- ② 家事、介護、育児、出産等の諸事情を有する者
- ③ その他、研究科長が相当の事情があると認めた者

(2) 本研究科に在学する者のうち、次のいずれかに該当するため、標準修業年限での履修が困難な者

（在学中に、新たに標準修業年限での履修が困難となる事由が生じた場合。なお、標準修業年限における修了予定年次（最終学年）に在学している者は申請できません。）

- ① 職業を有し、就業している者
- ② 家事、介護、育児、出産等の諸事情を有する者
- ③ その他、研究科長が相当の事情があると認めた者

2. 長期履修期間

長期履修学生の履修期間および在学中に長期履修を開始することができる学年は次の通りです。

課程	標準修業年限	長期履修期間	最長在学年限	在学学生長期履修開始可能学年
修士課程・博士課程前期	入学時から2年	入学時から3年または4年	4年	2年
博士課程後期	入学時から3年	入学時から4年または5年または6年	6年	2年、3年
博士課程	入学時から4年	入学時から5年または6年	8年	2年、3年、4年

※長期履修期間は入学時を開始基準とします。

※長期履修期間は1年間単位とします。

※長期履修学生の最長在学年限は、標準修業年限での履修生と同じです。

※休学期間は履修期間に含めません。

※長期履修学生の早期修了（標準修業年限より短い期間での修了）はできません。

3. 申請手続

(1) 申請期間

① 入学時から長期履修学生となることを希望する場合

……………入学試験出願時

② 在学生在新たに長期履修学生となることを希望する場合

……………開始を希望する前年度の1月末まで

(標準修業年限における最終学年在学者は申請できません。)

(2) 申請書類

① 長期履修学生申請書及び理由書(様式1)

② 研究計画書(博士課程後期および博士課程のみ)(様式2)

③ その他、当該研究科が必要と認める書類

※申請理由に応じて、長期履修を必要とすることを証明する書類等を提出していただく場合があります。

※申請書類は、大学院個別サイト (<https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp/>) 内の「入学試験」メニュー⇒「長期履修制度」ページからダウンロードしてください。

4. 学費等納入金

(1) 入学時から長期履修学生となる場合

- ・基本的に標準修業年限の授業料等の総額を、長期履修期間の修業年数で按分した額が年額となります。
- ・2年目以降の学費等納入金のうち、「委託徴収金」の金額には多少の変動が生じることがあります。

(2) 在学生在新たに長期履修学生となる場合

- ・基本的に標準修業年限の授業料等の総額から既に納入した標準の授業料等の総額を減じた額を、長期履修期間の残りの修業年数で按分した額が年額となります。
- ・2年目以降の学費等納入金のうち、「委託徴収金」の金額には多少の変動が生じることがあります。

5. 結果の通知

(1) 入学時から長期履修学生となることを希望する場合

- ・長期履修を希望する事由や研究計画等に基づき審査の上、入学試験合格発表時に合格通知とともに送付します。

(2) 在学生在新たに長期履修学生となることを希望する場合

- ・長期履修を希望する事由や研究計画等に基づき審査の上、3月末までに通知します。

6. 長期履修期間の変更(延長・短縮・取消)

長期履修学生として許可された者が、長期履修の期間の延長、短縮あるいは取消を必要とする事由が生じた場合は、指導教員の承認を得た上で、長期履修期間の変更を1回に限り願い出ることができます。

(1) 変更の願出期間

・変更を希望する前年度の1月末まで

(2) 変更願出書類

①長期履修学生変更願書及び理由書

- ・延長(様式3)
- ・短縮(様式4)
- ・取消(様式5)

②その他、当該研究科が必要と認める書類

※申請理由に応じて、長期履修を必要とすることを証明する書類等を提出していただく場合があります。

(3) 変更可能な長期履修期間と学年

変更	課程	長期履修期間 (変更前→変更後)	変更手続き可能学年
延長	修士課程・博士課程前期	入学時から3年→4年	1年又は2年
	博士課程後期	入学時から4年→5年	1年, 2年又は3年
		入学時から4年→6年	1年, 2年又は3年
		入学時から5年→6年	1年, 2年, 3年又は4年
博士課程	入学時から5年→6年	1年, 2年, 3年又は4年	
短縮	修士課程・博士課程前期	入学時から4年→3年	1年又は2年
	博士課程後期	入学時から5年→4年	1年, 2年又は3年
		入学時から6年→5年	1年, 2年, 3年又は4年
		入学時から6年→4年	1年, 2年又は3年
博士課程	入学時から6年→5年	1年, 2年, 3年又は4年	
取消	修士課程・博士課程前期	入学時から3年→2年(標準)	1年
		入学時から4年→2年(標準)	
	博士課程後期	入学時から4年→3年(標準)	1年又は2年
		入学時から5年→3年(標準)	
		入学時から6年→3年(標準)	
	博士課程	入学時から5年→4年(標準)	1年, 2年又は3年
入学時から6年→4年(標準)			

※延長は、変更前の長期履修期間における最終学年在学者は願い出ることができません。

※短縮は、短縮後に1年以上の修業期間がない場合は願い出ることができません。

※取消は、標準修業年限における最終学年(修士課程・博士課程前期=2年, 博士課程後期=3年, 博士課程=4年)在学者は申請できません。

※変更は1回に限り願い出ることができません。

※取消を行った場合、あらためて長期履修学生に申請することはできません。

(4) 授業料等納入金

※授業料等納入金（以下、「授業料等」）とは、「授業料」及び「教育充実費」を指します。

※在学中、毎年度納入が必要な学生健康保険互助組合費等の「委託徴収金」は授業料等には含まれません。

①延長

・基本的に標準修業年限の授業料等の総額から既に納入した変更（延長）前の授業料等の総額を減じた額を、長期履修期間の残りの修業年数で按分した額が年額となります。

②短縮

・基本的に標準修業年限の授業料等の総額から既に納入した変更（短縮）前の授業料等の総額を減じた額を、長期履修期間の残りの修業年数で按分した額が年額となります。

③取消

・基本的に取消後は標準修業年限の授業料等年額になります。

・ただし、そこまでに納付すべき標準修業年限の授業料等の総額から既に納付した授業料等の総額を控除した額を、取消後の最初の年度に授業料に上乗せして徴収します。

(5) 結果の通知

・変更を必要とする事由や研究計画等に基づき審査の上、3月末までに通知します。

7. 長期履修制度利用にあたっての注意

・独立行政法人日本学生支援機構の奨学金貸与において、長期履修に応じた貸与は入学時に申請した場合にのみ適用されます。在学中の申請あるいは長期履修期間の変更等を行う場合は対象外となることがあります。

■福岡大学までの交通機関



地下鉄のご案内

福岡空港駅から [空港線]
博多駅まで 5分
天神駅まで 11分
博多駅から [七隈線]
福大前駅まで 20分
▶空港線博多駅から七隈線博多駅乗り換え所要時間3分
天神南駅から [七隈線]
福大前駅まで 16分
▶空港線天神駅から七隈線天神南駅乗り換え 所要時間7分~8分 (550m)
薬院駅から [七隈線]
福大前駅まで 13分

※時間帯によって交通混雑が予想されますので、所要時間は目安としてください。
 ※バスの行き先番号が同じでも行き先が異なることがありますので、バス正面の行先（経由地）をご確認ください。
 ・地下鉄に関する情報……福岡市交通局 <https://subway.city.fukuoka.lg.jp/>
 ・バスに関する情報……西鉄バス <https://www.nishitetsu.jp/bus/>



バスのご案内

博多から 35分~45分
▶行先番号 ⑫⑬⑭番もしくは エコルライナー(快速)[平日のみ]をご利用ください。
天神から 25分~30分
▶行先番号 ⑫⑬⑭番もしくは エコルライナー(快速)[平日のみ]をご利用ください。



車・タクシーのご案内

博多から 45分
天神から 30分
福岡空港から 30~45分
西新から 約15分

高速道路をご利用の場合

[唐津方面からの場合]

西九州自動車道(福岡前原道路)から都市高速道路環状線に入ります。野芥ランプで降りた後、福大トンネル出入口の手前を右折し、梅林中学校入口を左折します。500mほど直進した後、福岡大学病院東口交差点を直進します。

[北九州および福岡県外(大分・熊本方面など)からの場合]

九州自動車道の太宰府IC(インターチェンジ)から都市高速道路に乗り、月隈JCT(ジャンクション)を左折します。堤ランプで降り、国道202号線(福岡外環状道路)を2kmほど直進して福大トンネル出入口手前から右折し、福岡大学病院東口交差点を右に入ります。

福岡大学大学院

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号

電話 (092) 871-6631
 大学院事務課 内線 2913~2916